

第 3 部 調査結果の詳細

第1章「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度（問1、問2）

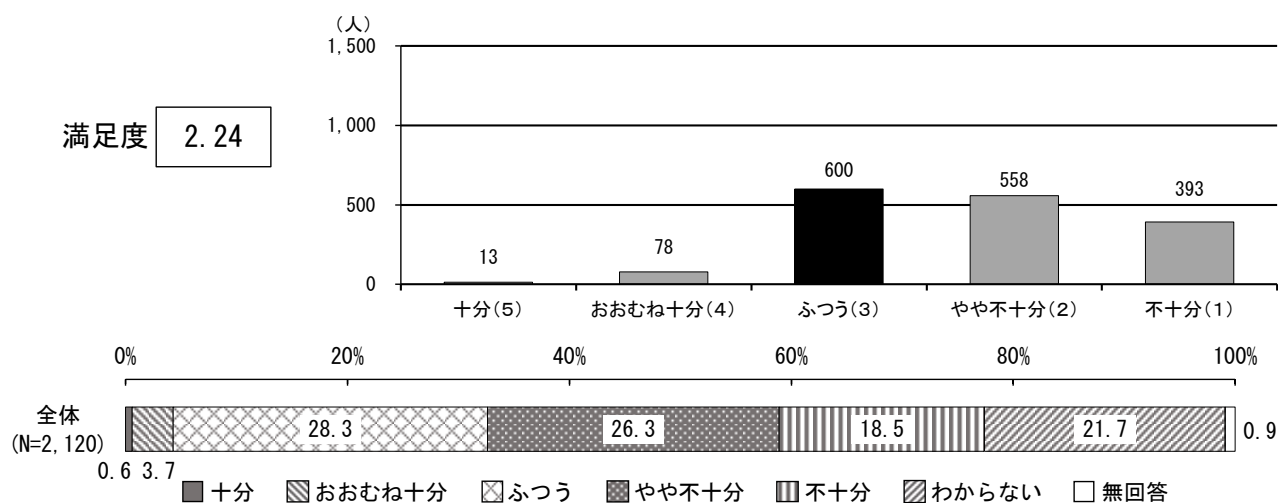
プランの各施策に関連する項目について、満足度を「十分（5）」～「不十分（1）」の5段階で質問した。

（1）戦略1 産業・雇用戦略について

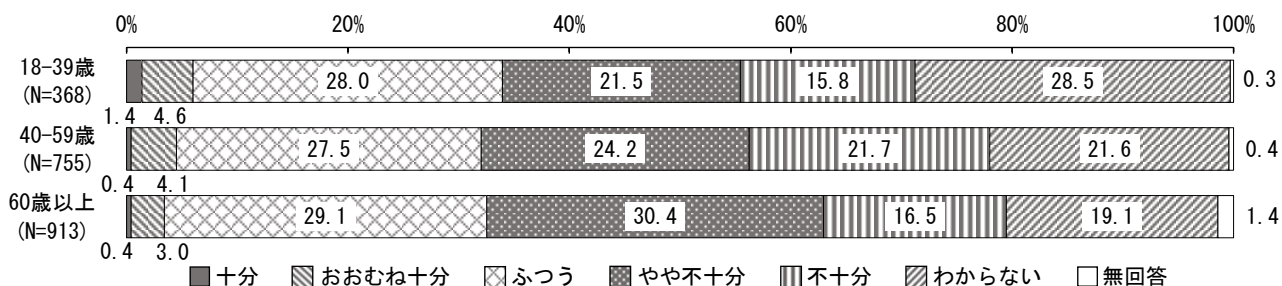
ア 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

問1-1 生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。

（a）満足度の状況



【年代別】



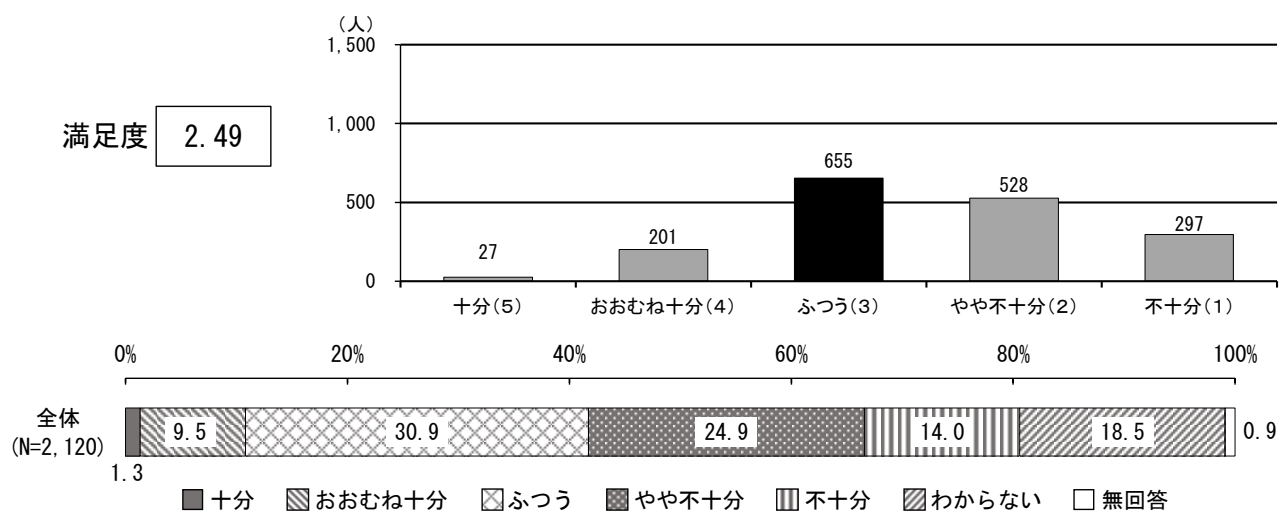
（b）回答の理由

- 後継者問題を解決できておらず、ノウハウを確立した一部の企業、個人のみが事業を継続できているように感じる。（1 不十分／女性／70歳以上／鹿角地域）
- 大手企業を県内に誘致して雇用機会を増やしたり、県内産業のDX化を図ることで、若年層にも働きやすい環境を行政がつくる必要があると感じる。（1 不十分／女性／40歳代／北秋田地域）
- 中小企業を更に支援するとともに、職業訓練の実施等により若者が手に職を付け、あるいは資格を得て雇用されるようになってほしい。（3 ふつう／女性／60歳代／仙北地域）

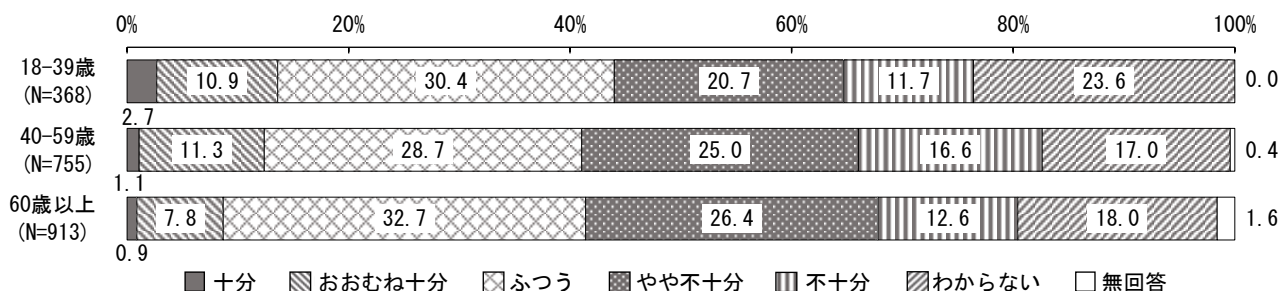
イ 地域資源を生かした成長産業の発展

問 1-2 輸送機、新エネルギー、情報、医療福祉機器分野等の成長産業への参入が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



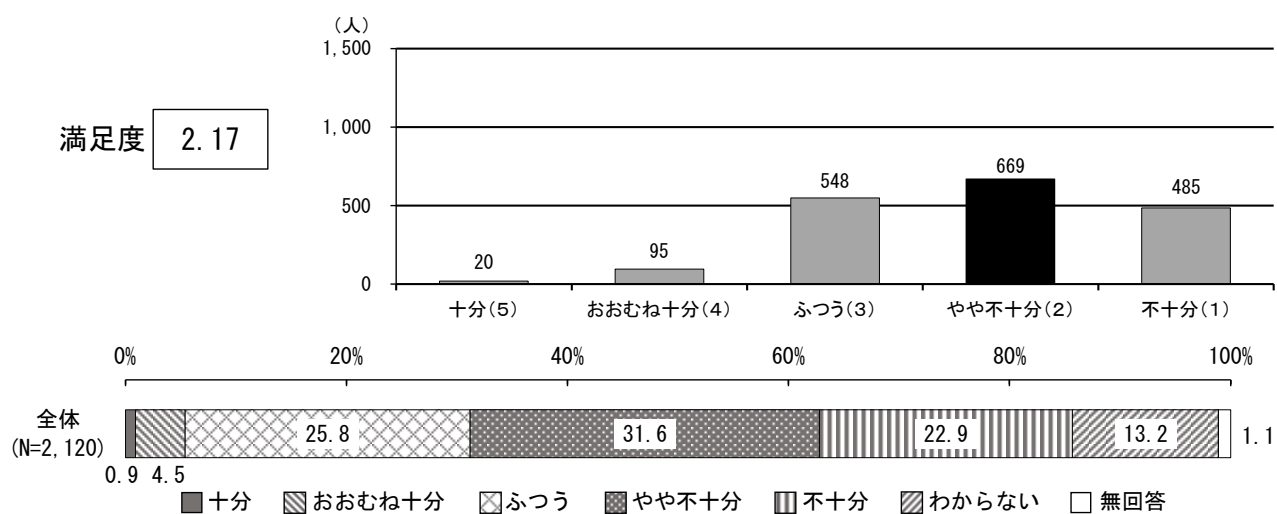
(b) 回答の理由

- 県内の風力発電の効果が県民にどのように還元されているのかがわからない。(1 不十分／男性／70歳以上／秋田地域)
- 風力発電は盛んに行われているが、事故もあり大型風力の安全性はどうなのかという疑問はある。(2 やや不十分／男性／40歳代／秋田地域)
- 福祉施設や医療現場で様々な機器が導入されているが、人手不足解消などにつながっていると思えない。(2 やや不十分／女性／30歳代／北秋田地域)

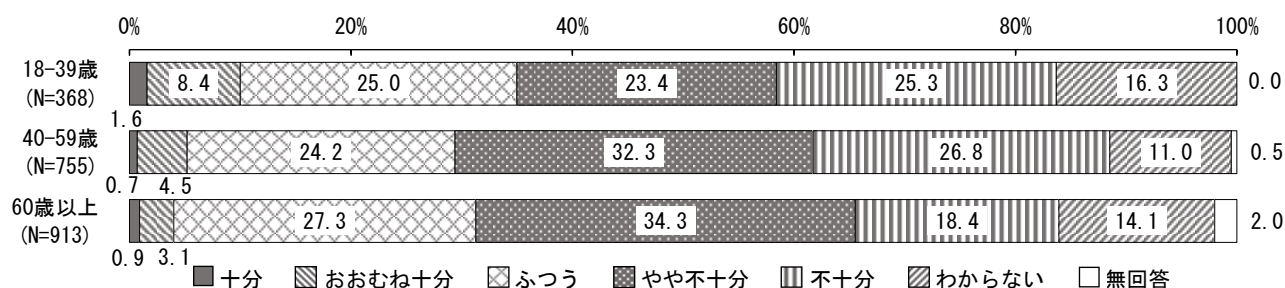
ウ 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

問 1-3 地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



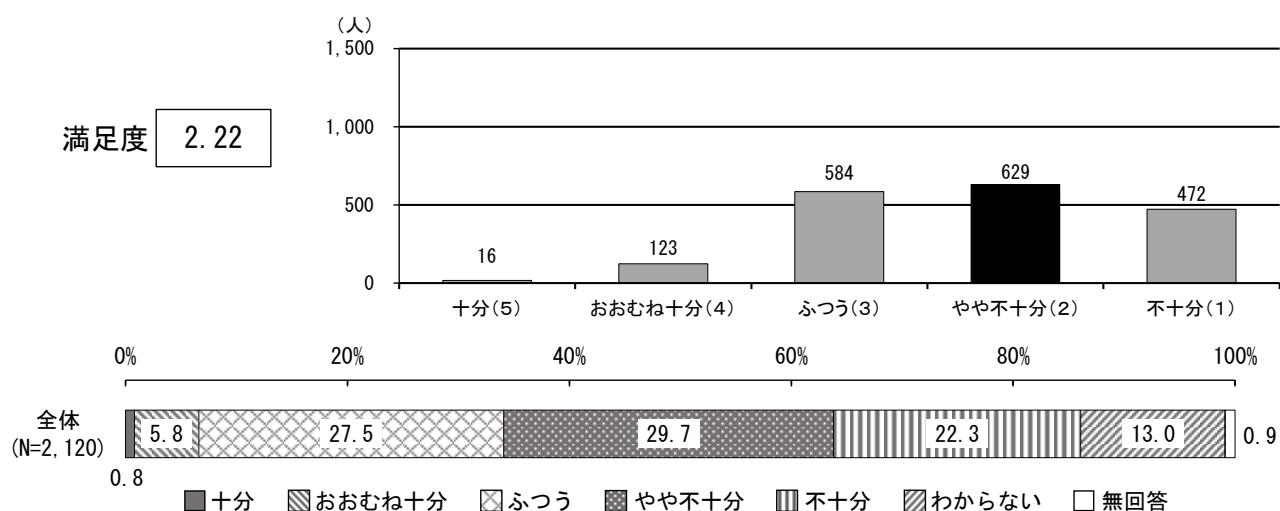
(b) 回答の理由

- ・ 若年層の県外流出、婚姻数・出生率の低下・低迷を考えると地域産業が活性化されているとは考えづらい。(1 不十分／男性／70歳以上／秋田地域)
- ・ 裾野が広い自動車産業やそれに類似する産業分野へ集中的に取り組み、関係企業とのパイプ構築を優先するべきと考える。(3 ふつう／女性／30歳代／平鹿地域)
- ・ 工作上、地域産業のお客様に寄り添う業種であるが、支援が行き届いている印象がなく、あまり活性化しているとは思えない。(3 ふつう／男性／40歳代／仙北地域)

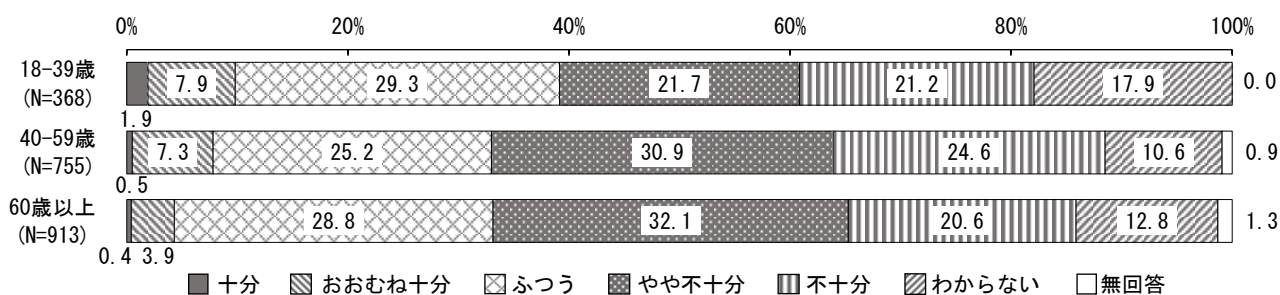
エ 産業振興を支える投資の拡大

問 1-4 企業の進出に向けた立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

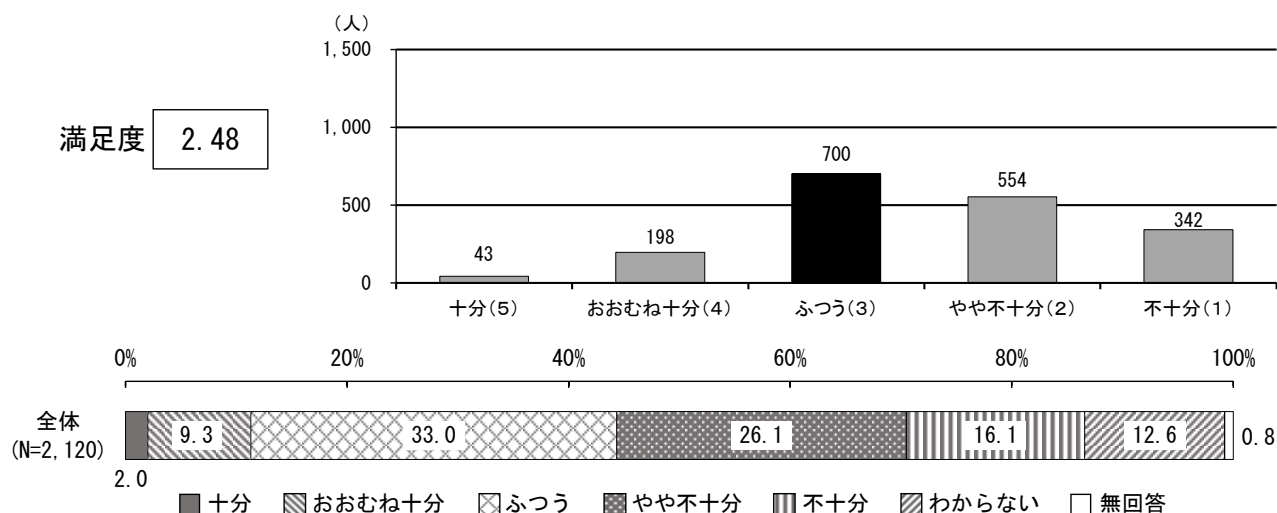
- これまでに大小様々な企業が県内に誘致されたと思うが、企業の規模や企業の数などをどの県民にも見える形にすると行政の努力が伝わるのではないか。(1 不十分/男性/50 歳代/秋田地域)
- 土地は都市に比べてあると思うので、もっと積極的に誘致し、企業サイドにも魅力ある場所になってほしい。(3 ふつう/女性/60 歳代/仙北地域)
- 誘致企業が増え、若者の雇用につながると本当に良いと思うが、そのためにも秋田の魅力をどんどん発信してほしい。(3 ふつう/女性/60 歳代/仙北地域)

(2) 戦略2 農林水産戦略について

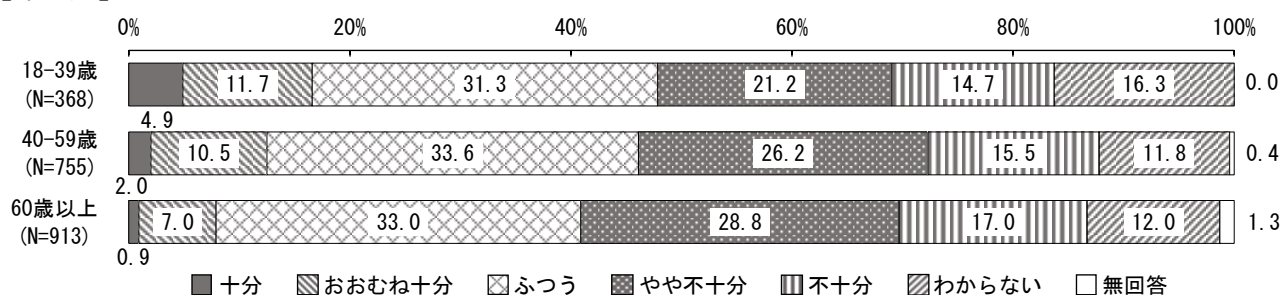
ア 農業の食料供給力の強化

問 1-5 経営力の高い担い手等が活躍するなど、我が国の食料供給に貢献している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



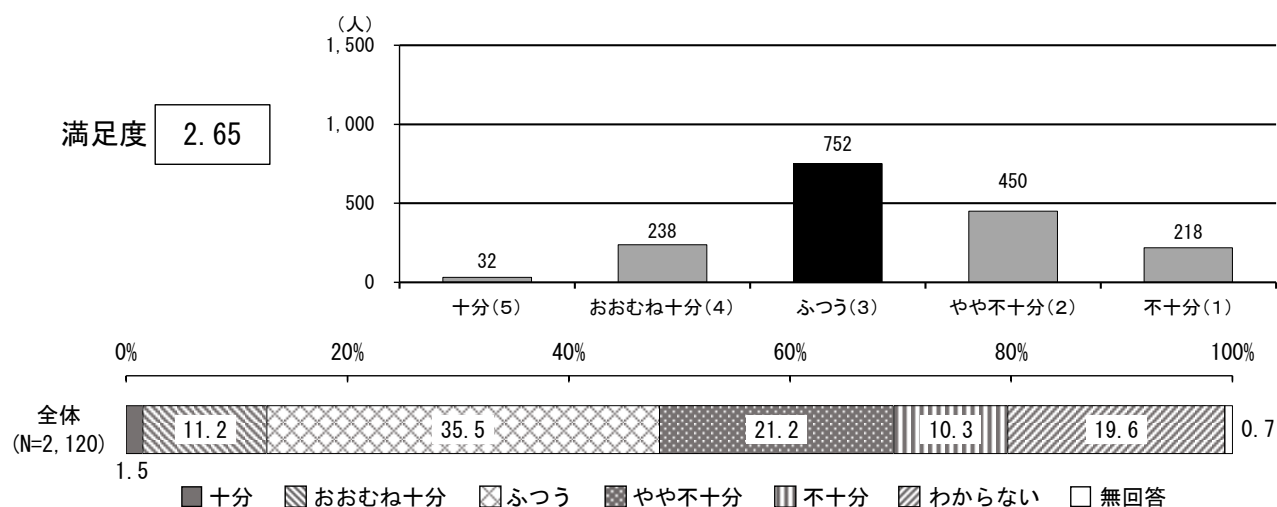
(b) 回答の理由

- ・ 今問題になっている米不足に対して県レベルで何をしようとしているのかわからない。(1 不十分/男性/70 歳以上/北秋田地域)
- ・ 高齢化による離農が加速度的に進んでいる。米価上昇を好機ととらえ、若者の就農、耕作放棄地の活用を、もっと予算をつぎ込んで進めるべきと考える。(1 不十分/男性/50 歳代/秋田地域)
- ・ 秋田県の美味しい米、野菜、果物、花、種苗交換会の開催、とても素晴らしいと思う。これからも農業を一番に推進して欲しい。(5 十分/女性/60 歳代/仙北地域)

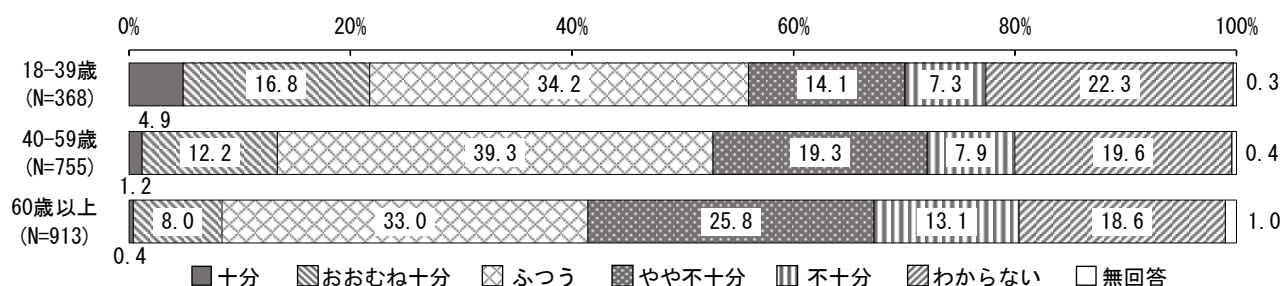
イ 林業・木材産業の成長産業化

問 1-6 「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



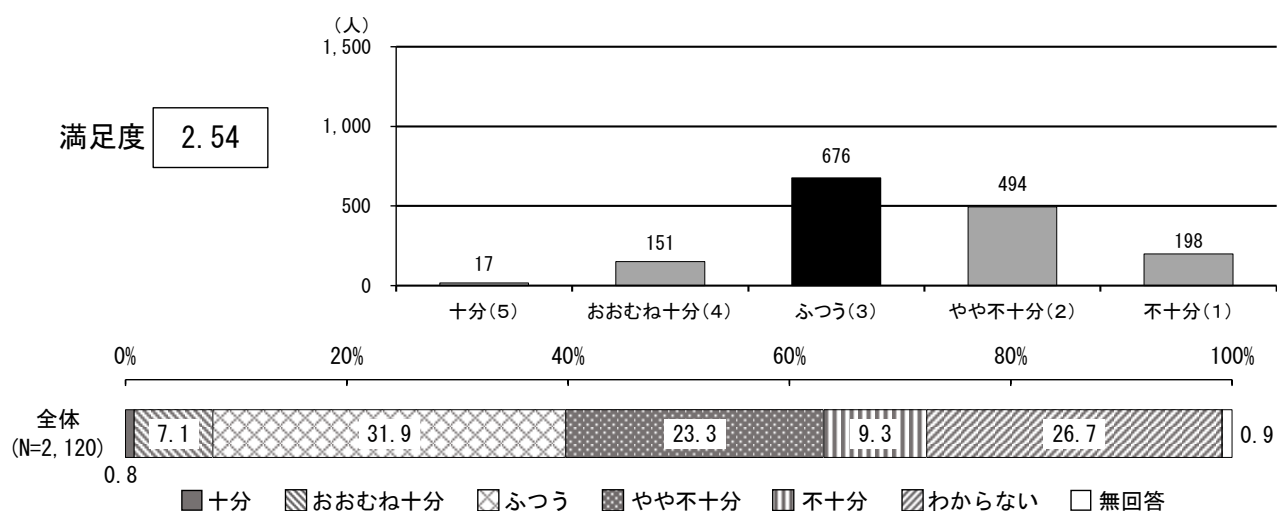
(b) 回答の理由

- ・ 雑木林や山の放置が進んでいて、いつ山が崩れるか心配に思う。(1 不十分／女性／60 歳代／平鹿地域)
- ・ 伐っているばかりで植える事をしていないと感じる。植樹にも力を入れてほしい。(2 やや不十分／男性／60 歳代／山本地域)
- ・ ほとんどの山林で植林や伐採が適正に行われている様子を目にする。ただし、高齢化が進む地域では管理に不安を感じる山林を目にすることもある。(4 おおむね十分／その他／40 歳代／秋田地域)

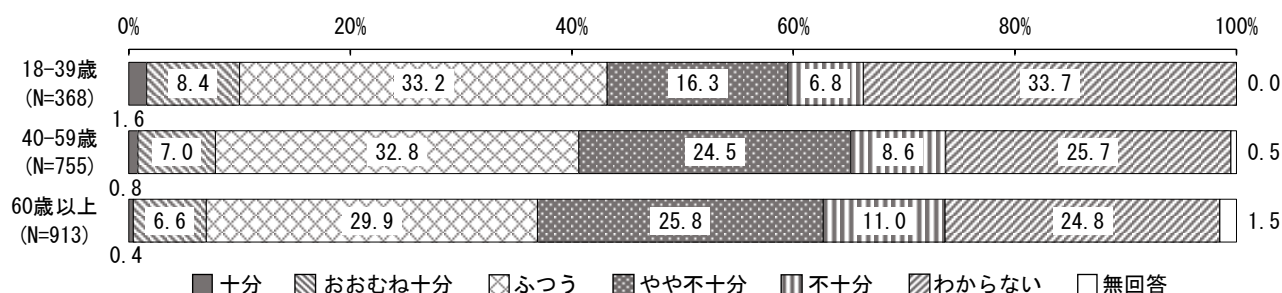
ウ 水産業の持続的な発展

問 1-7 蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



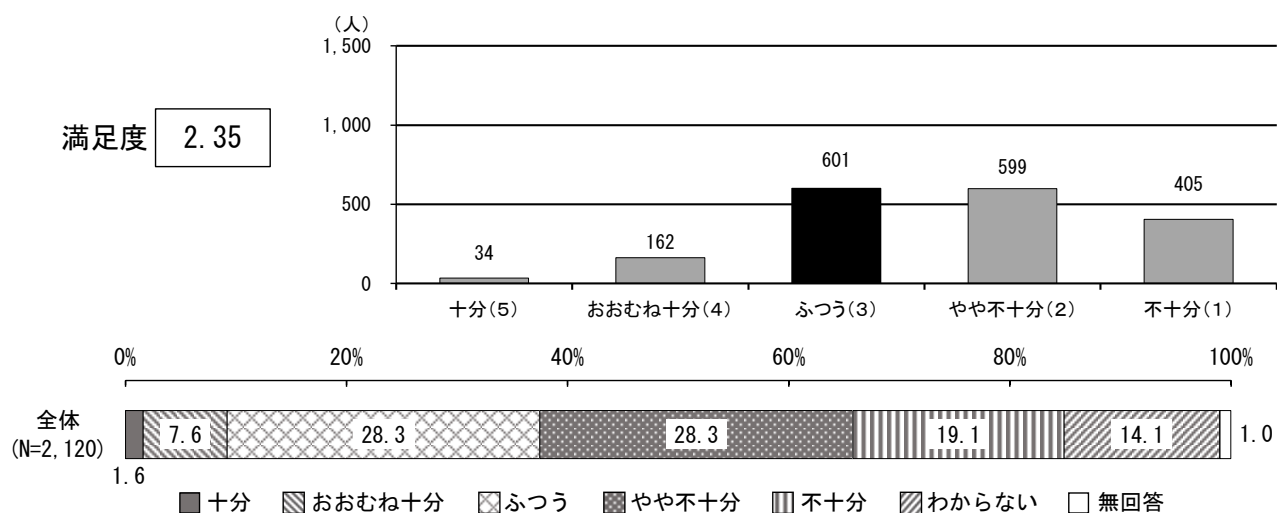
(b) 回答の理由

- 新しいブランド品が開発されたというニュースは目にするが、オンライン販売のアピールが弱いと感じる。(2 やや不十分/女性/40歳代/秋田地域)
- オンライン販売はもちろんのこと、鮮度を保ったまま冷凍する技術を取り入れて県内の水産物を盛り上げてほしいが、期待値まで達していないのが残念。(2 やや不十分/女性/40歳代/北秋田地域)
- 定番以外の地元の養殖魚が近所のスーパーにも並んでいて、新しい取組を実感している。(4 おおむね十分/女性/50歳代/秋田地域)

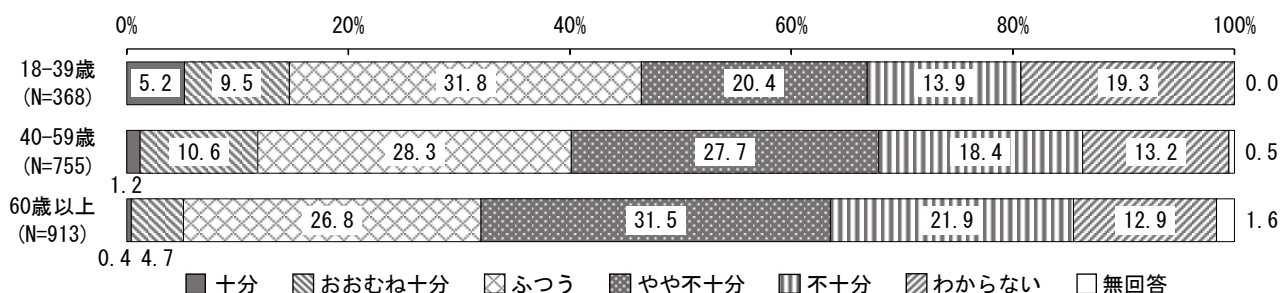
エ 農山漁村の活性化

問 1-8 農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

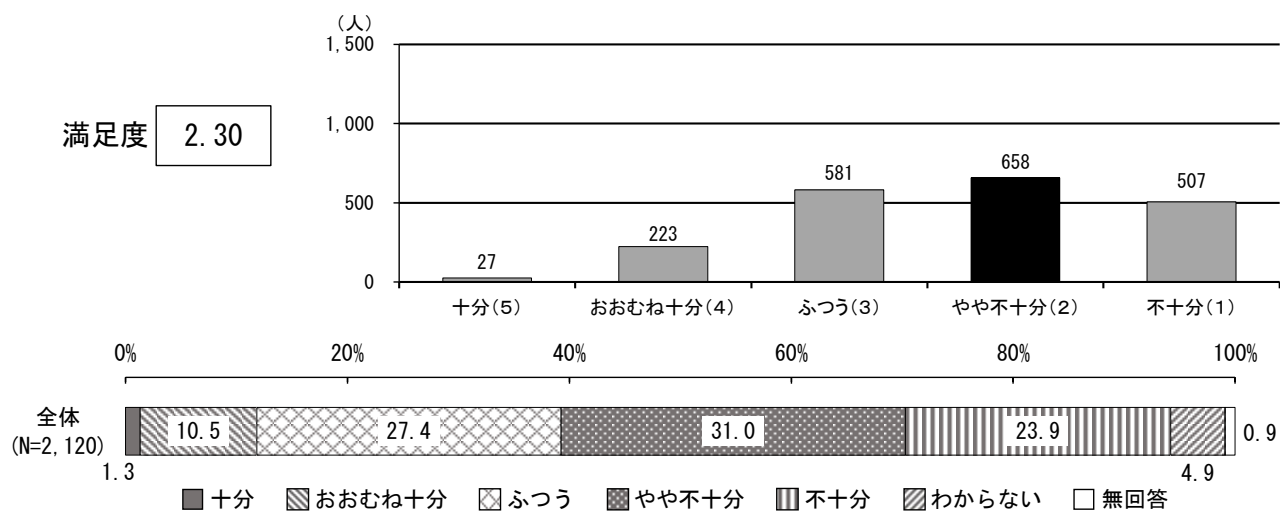
- 農村ビジネスをやっている所があるのは知っているが、その地域が活性化しているようには感じない。(1 不十分/女性/70歳以上/鹿角地域)
- 「半農半X」の兼業スタイルの取組をもっと促進すれば更に活性化していくのではないかな。(3 ふつう/男性/60歳代/仙北地域)
- 秋田県の風土や食を生かした多様な取組があると感じている。農山漁村が活性化してはいないが、農家民宿を契機ににぎわいを創造してほしい。(4 おおむね十分/その他/40歳代/秋田地域)

(3) 戦略3 観光・交流戦略について

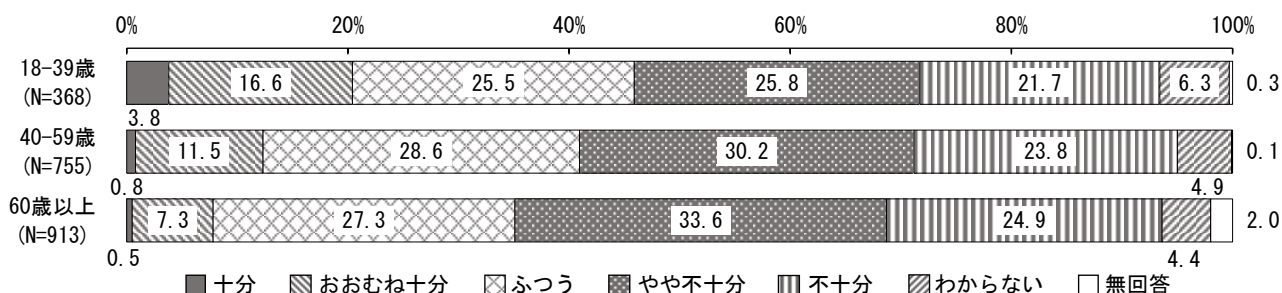
ア 「何度でも訪れたくなるあきた」の創出

問 1-9 秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



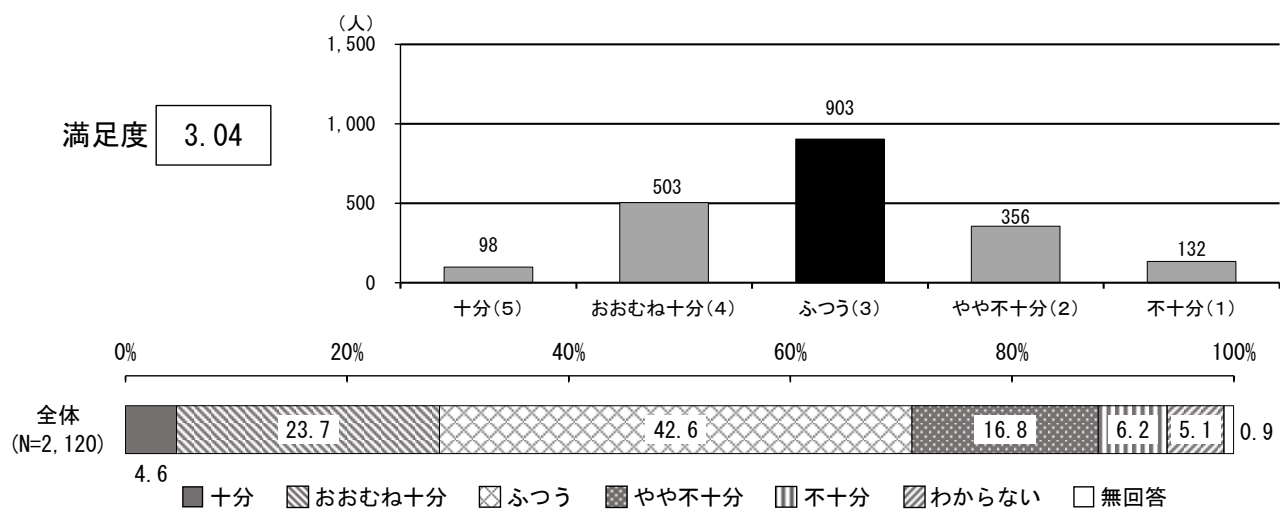
(b) 回答の理由

- 魅力は十分にあると思うが、発信力が足りないと感じる。世代別に向けた発信を考えると良いのではないかと。(1 不十分/男性/40歳代/秋田地域)
- 誘客を進めても観光地へのアクセス道路、鉄道、交通機関が不十分であり、また、その場の宿泊施設が少ないと感じるので、それらを準備すべきであると思う。(1 不十分/男性/50歳代/秋田地域)
- 以前よりもSNS等の発信で魅力を知ってもらうことが増えたと感じるが、新しい観光スポットや遊ぶ場所等にあまり変化がないため、もっとそういう場所が増えてほしいと思う。(2 やや不十分/女性/20歳代/由利地域)

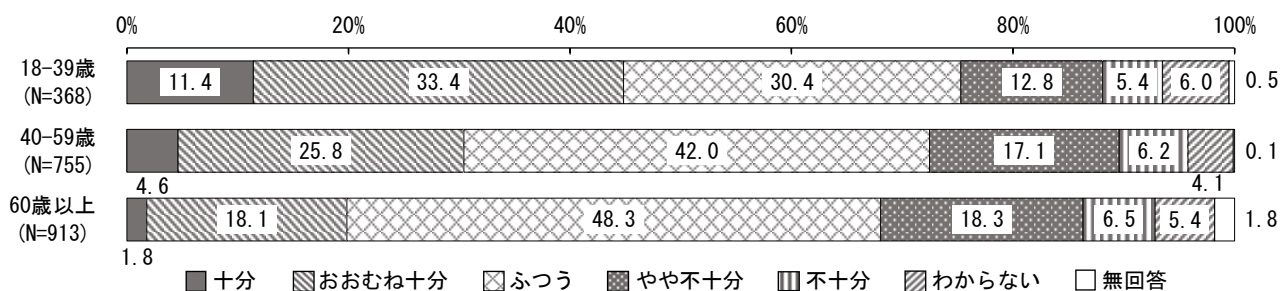
イ 「美酒・美食のあきた」の創造

問 1-10 食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



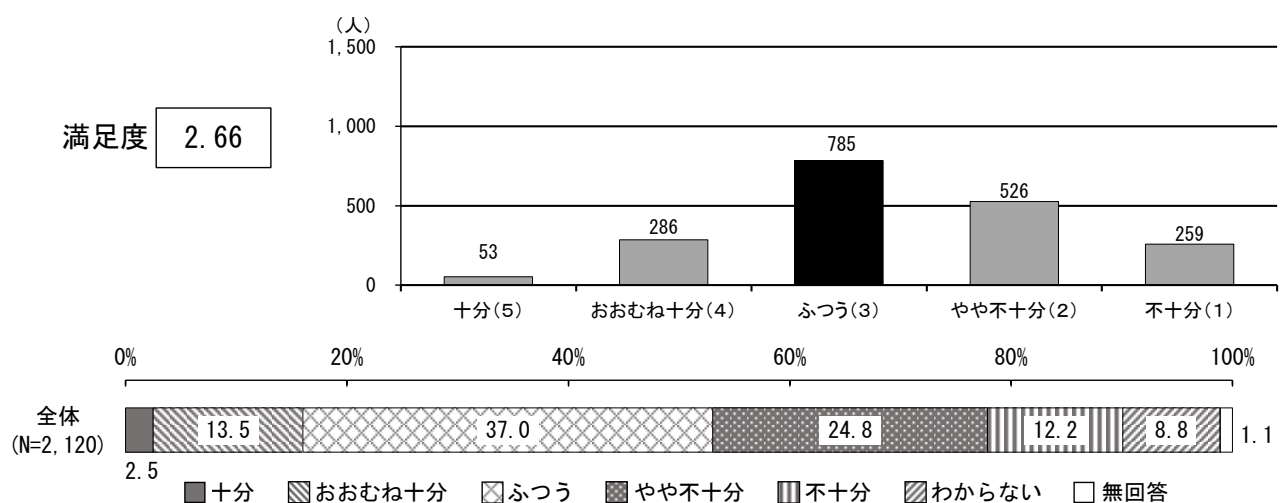
(b) 回答の理由

- 秋田らしさ＝発酵文化というイメージはついてきたように感じるが、酒以外の商品力、ブランディングが足りないと感じる。(2 やや不十分/女性/30歳代/秋田地域)
- 日本酒や発酵食については近年発信力も高くなっているように感じる。発酵食は健康志向の高まりもあることから、今後商流を拡大できると思う。(4 おおむね十分/その他/40歳代/秋田地域)
- 東京に住んでいた際にも秋田のいぶりがっこ、日本酒、とんぶりを目にする機会が多かった。比内地鶏の流通をもっと増やしてもいいと感じる。(4 おおむね十分/男性/20歳代/鹿角地域)

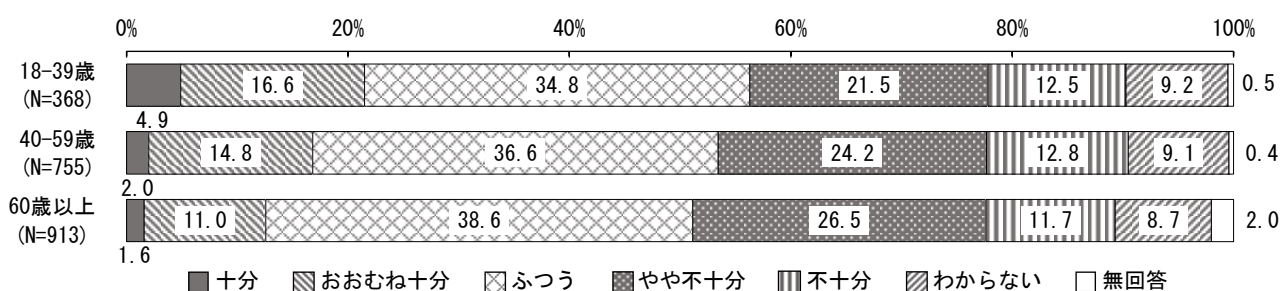
ウ 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

問 1-11 国内外に秋田の文化芸術の魅力が伝えられている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



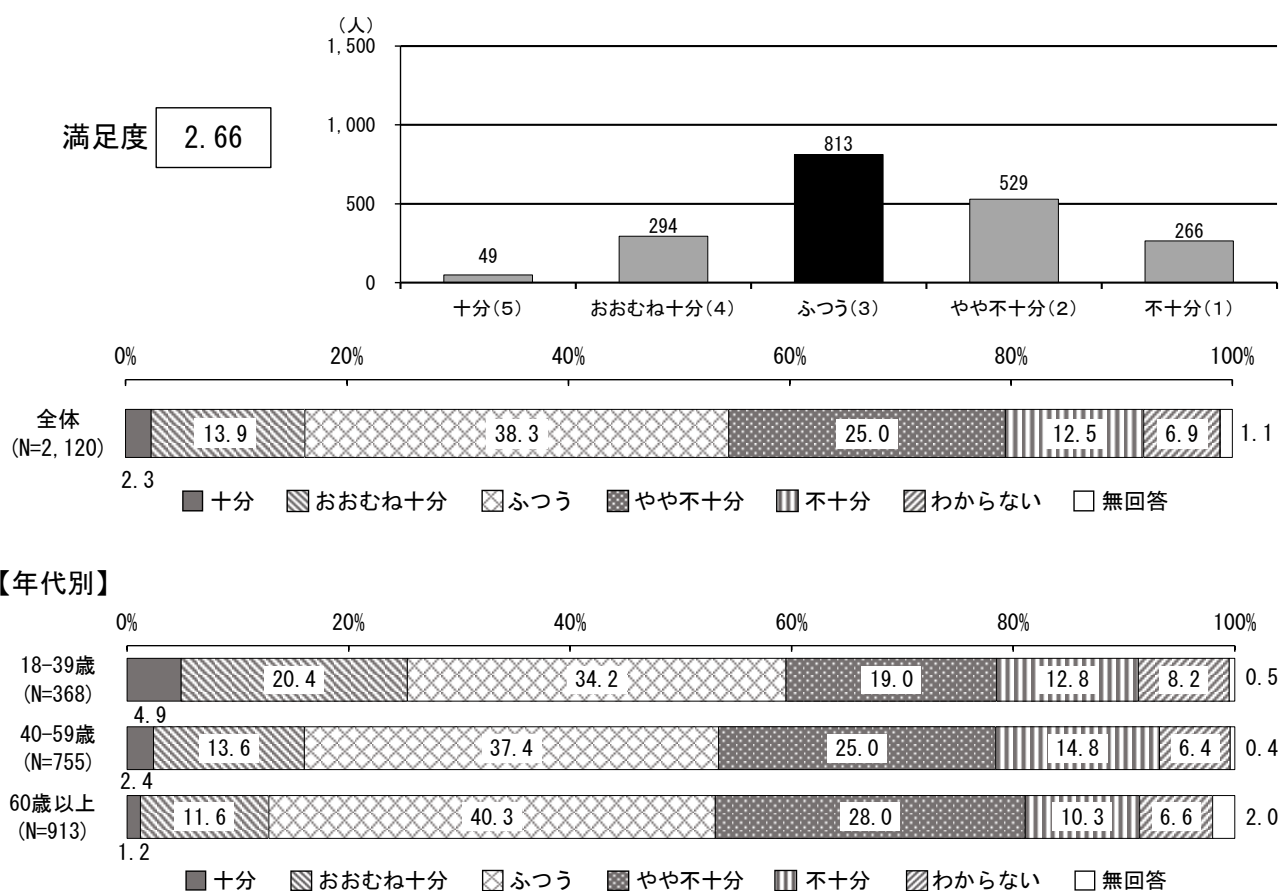
(b) 回答の理由

- ・ 祭りは有名だと思うが、それ以外の文化芸術を秋田に見に来る方はまだまだ少ないと思う。
(2 やや不十分/女性/40歳代/秋田地域)
- ・ ミルハスや文化創造館周辺の運営、文化芸術を推し進める取組は評価するが、興味が引かれ行きたいと思えるイベントが増えてほしいと感じる。(3 ふつう/女性/20歳代/秋田地域)
- ・ 秋田の文化が国内外に伝えられているかはわからないが、文化芸術に関する催しの来場者数は増えていると感じる。(4 おおむね十分/男性/20歳代/北秋田地域)

エ 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

問 1-12 スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。

(a) 満足度の状況



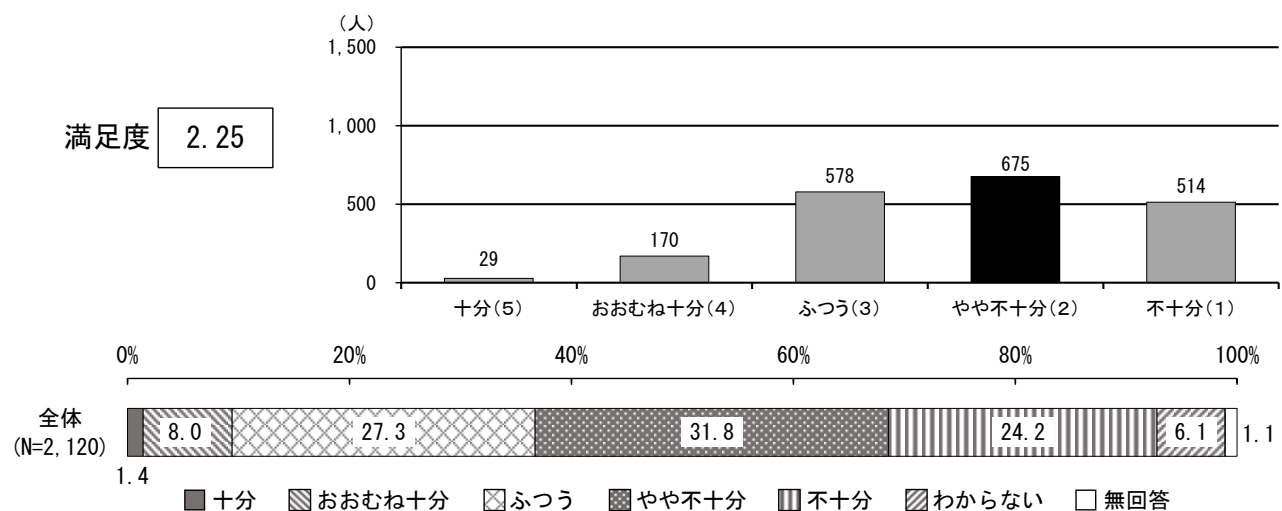
(b) 回答の理由

- 定期的・日常的に県民（市民）参加型のスポーツイベントが有り、気軽に参加できれば良いと思う。（2 やや不十分／女性／60歳代／秋田地域）
- サッカーやバスケの観戦が好きな一部の方は盛り上がりを見せているが、普段スポーツをしない一般人が取り組めるスポーツ体験の場が少ないと感じる。（3 ふつう／女性／20歳代／秋田地域）
- パラスポーツ、eスポーツの普及によりスポーツは全ての人が楽しめるものとなった。ツーリズムと合わせ、さまざまな交流の機会を創出して地域経済の活性化につなげてほしい。（3 ふつう／男性／50歳代／北秋田地域）

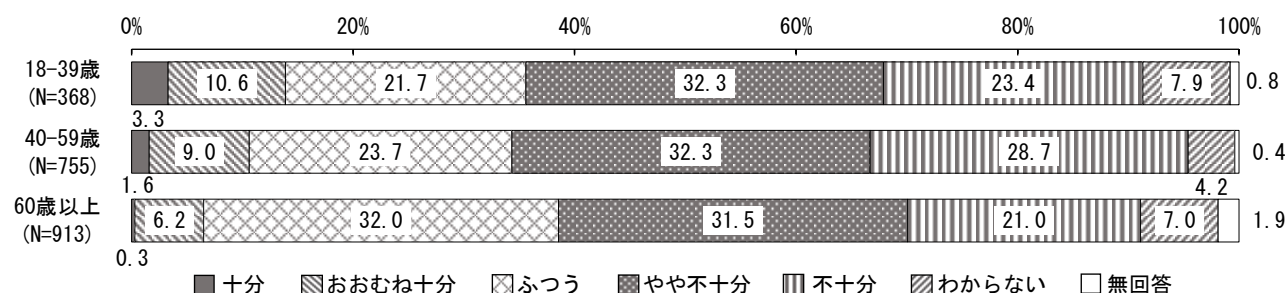
オ 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

問 1-13 国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通の整備が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

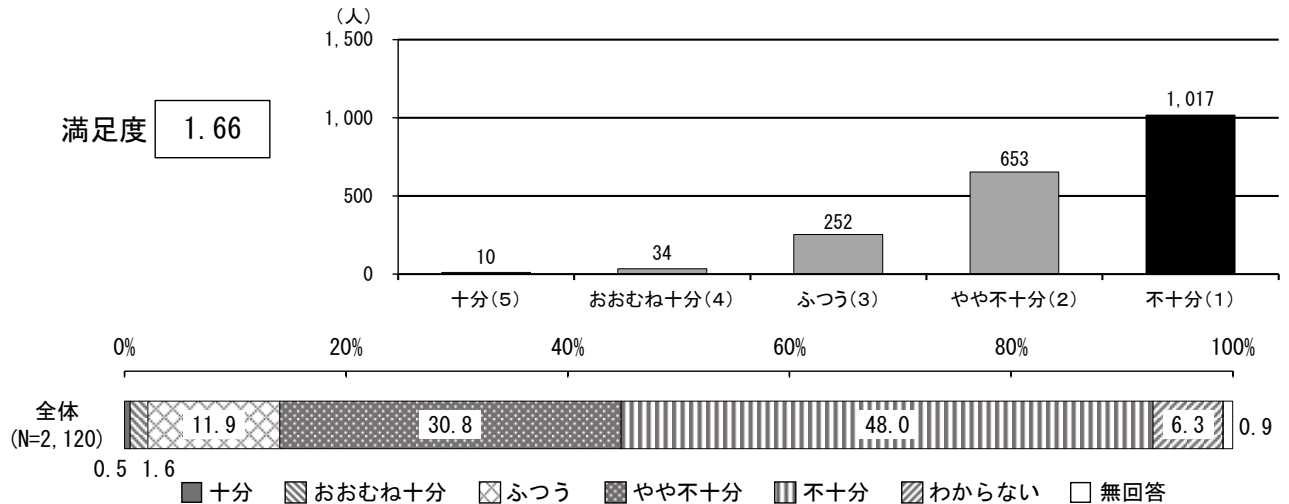
- 秋田市は十分かもしれないが、中心部から離れた地域ではバスや電車の本数も少なく、地域交通の整備が進んでいるとは考えにくい。(2 やや不十分／男性／40歳代／北秋田地域)
- 高速道路の整備は進んできていると思うが、渋滞緩和の為の交通整備にも力を入れてほしい。(3 ふつう／男性／30歳代／秋田地域)
- 新たな高速道路が整備されている所もあり、交通網は整っていると感じる。高速道路の使用料金がもっと安ければ利用率も上がるのではないかな。(4 おおむね十分／女性／20歳代／仙北地域)

(4) 戦略4 未来創造・地域社会戦略について

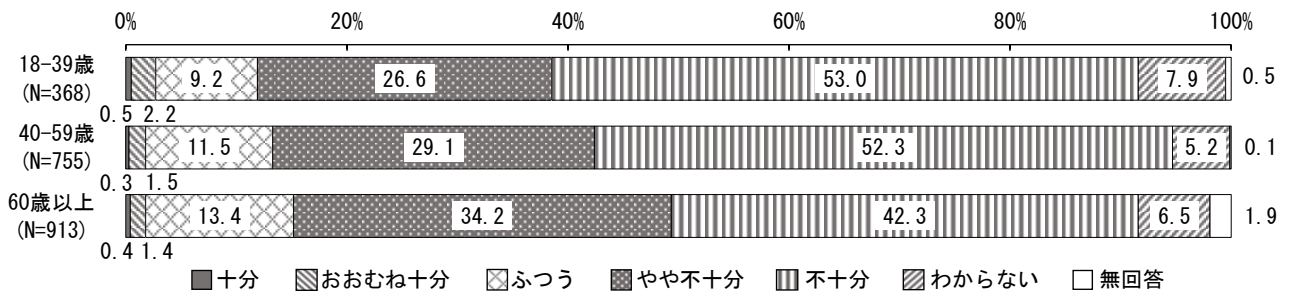
ア 新たな人の流れの創出

問 1-14 秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



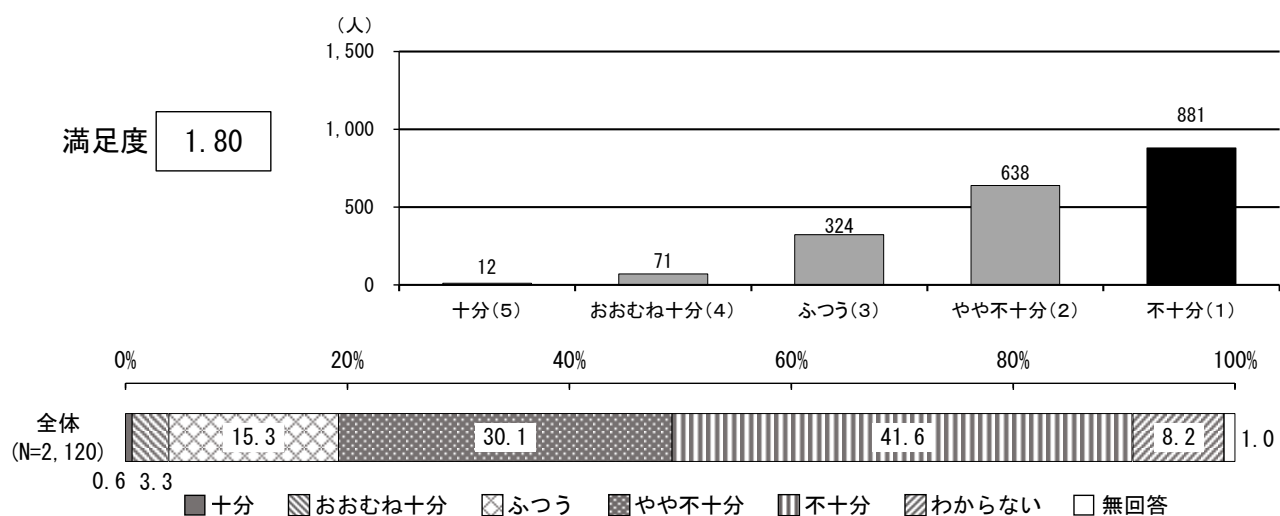
(b) 回答の理由

- ・ 給料も低いので生活が苦しく、就職する企業も少ない。また、遊ぶ所も少ないと感じる。子育て中だが、公園や室内で遊べる施設も少ないので、子ども達は県外に行くことを考えてしまっている。(1 不十分/女性/40歳代/雄勝地域)
- ・ 秋田県内の若者は活躍すればするほど、新たな挑戦を求めて首都圏に行く状況であると感じる。県内に新たな挑戦ができる土壌が少ないのではないかと。(2 やや不十分/男性/50歳代/秋田地域)
- ・ 若者が勤めたいと思える職業があまりないため、県外へ進学し、そのまま秋田県以外で就職するケースが非常に多いと感じる。(2 やや不十分/女性/20歳代/秋田地域)

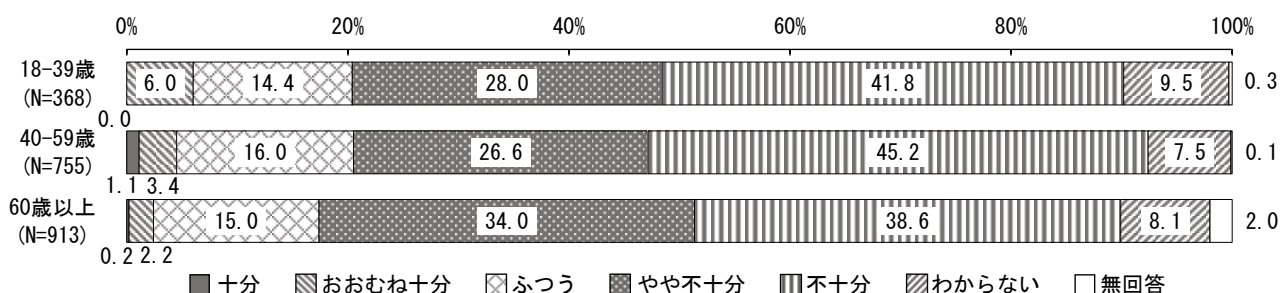
イ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

問 1-15 結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりが進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



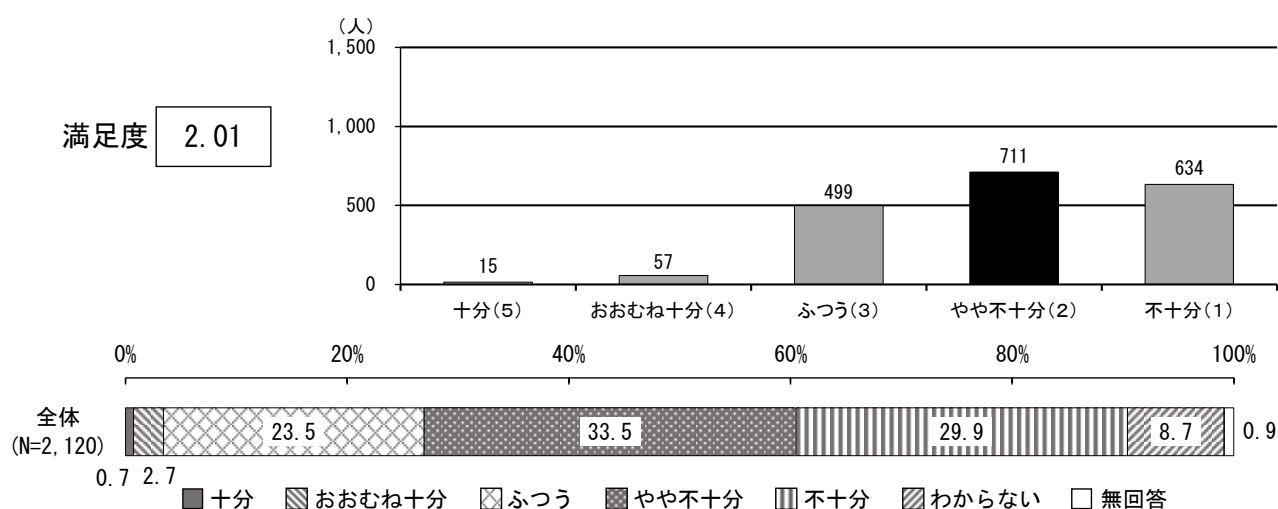
(b) 回答の理由

- 全国一子育てがしやすい県を目指してほしい。そうすれば若者も定着しやすいだろうし、他県からも流れてきたり、出て行った人も戻ってくるかもしれないと考える。(1 不十分／男性／20歳代／秋田地域)
- 結婚、出産、子育ての希望を持つ前に「仕事」と「安定した給料」を求めるのではないだろうか。その環境が整備されておらず、安心して生活できていないと感じる。(1 不十分／女性／40歳代／北秋田地域)
- 出生数が少ないのは残念だが、職場の理解が良くなってきたと思う。また、子育てを地域で支援する体制もできつつあると感じる。(4 おおむね十分／女性／60歳代／由利地域)

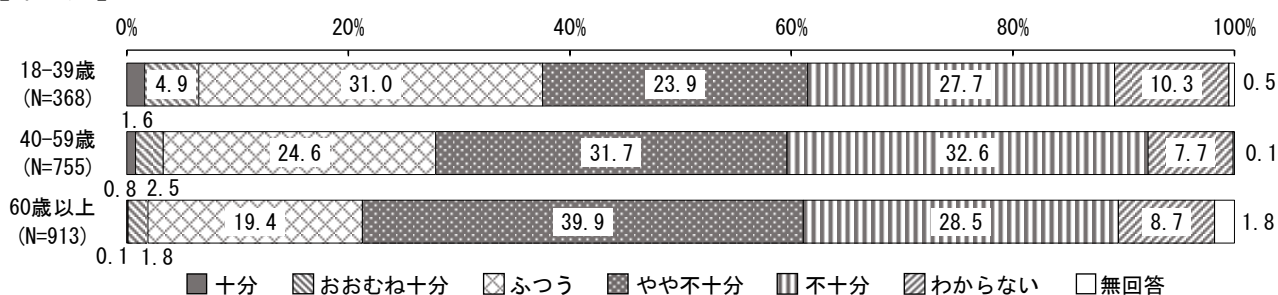
ウ 女性・若者が活躍できる社会の実現

問 1-16 女性や若者が、個性や能力を発揮して活躍できる環境づくりが進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



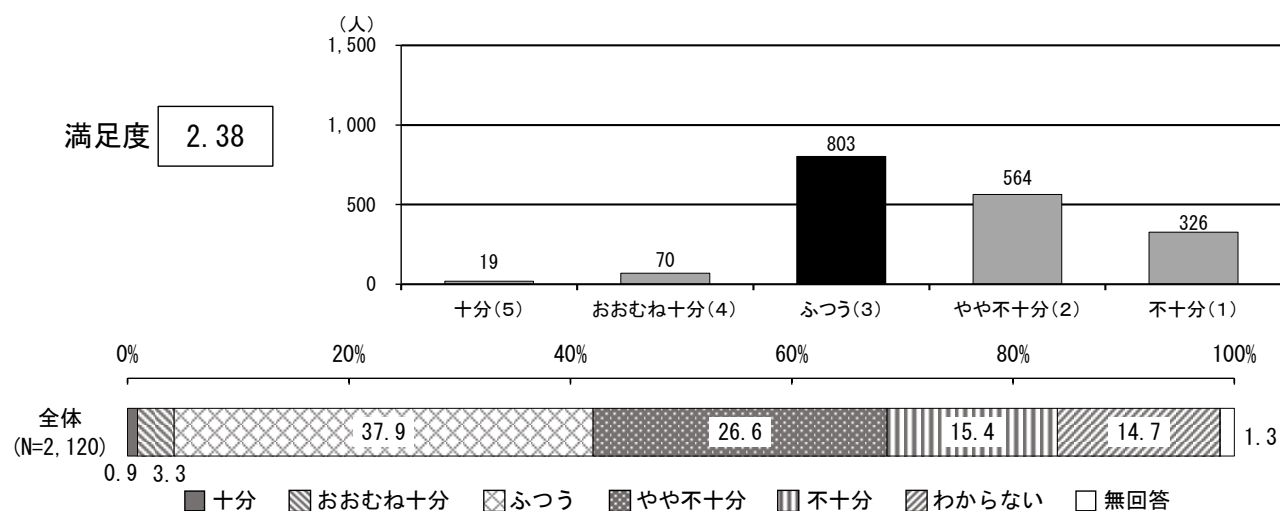
(b) 回答の理由

- 能力を発揮して活躍しても、給料が少ないと女性や若者はいなくなってしまうと思う。(1 不十分/女性/60歳代/秋田地域)
- まだまだ女性差別があると感じる。男女平等の社会に向けた県民意識をどのように理解して実践していくかは、一人ひとり(県民自身)が勉強しなければならない。(1 不十分/男性/70歳以上/秋田地域)
- 新しいものを排除する雰囲気、新しいものに挑戦できない雰囲気、現状維持を選んでしまうという空気感は様々な創造を阻害していると感じる。新知事になり、その弊害を突破することを期待している。(3 ふつう/女性/20歳代/仙北地域)

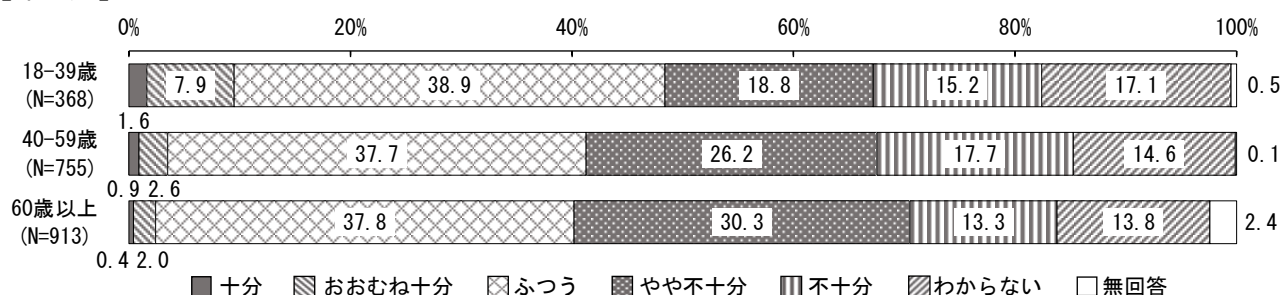
エ 変革する時代に対応した地域社会の構築

問 1-17 多様な主体による協働等を通じて、安心して生活できる地域社会づくりが行われている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



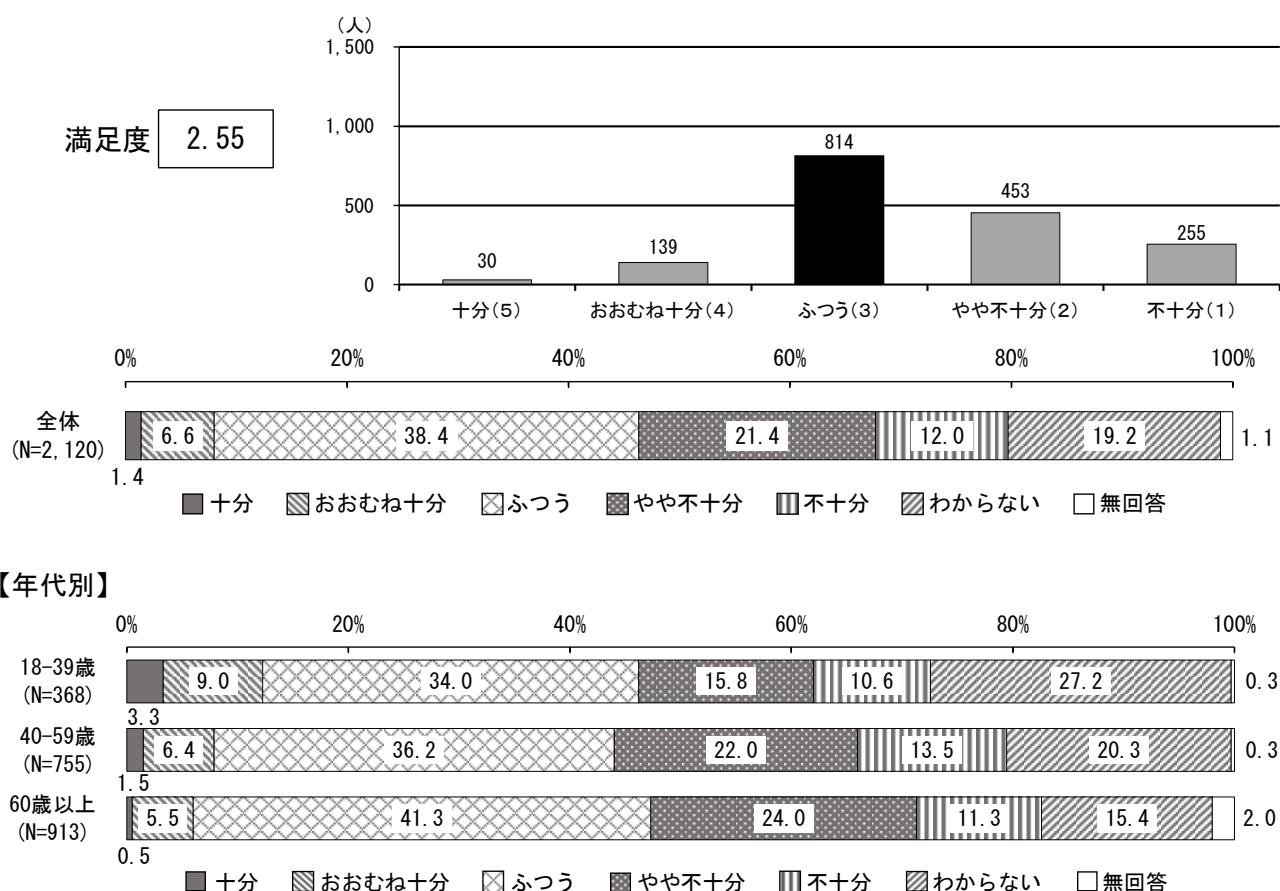
(b) 回答の理由

- 町内会が組織されない新興住宅地や限界集落など、地域社会づくりは高齢化や若年人口の減少、価値観の多様化とあいまってますます困難になってきていると感じる。(1 不十分／女性／60歳代／秋田地域)
- 地域社会で生活する一住民として地域コミュニティの希薄さが顕著であると感じている。特に町内会活動では若い人が役員になりたがらず、高齢者ばかりの役員体制になっていることから、活動は低調である。(2 やや不十分／男性／70歳以上／秋田地域)
- 都会に比べて、人と人とのつながりがある分、安心して暮らせる地域が実現していると思う。(3 ふつう／男性／50歳代／北秋田地域)

オ 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

問 1-18 地域住民、事業者、行政等が連携して、地球温暖化対策に取り組んでいる。

(a) 満足度の状況



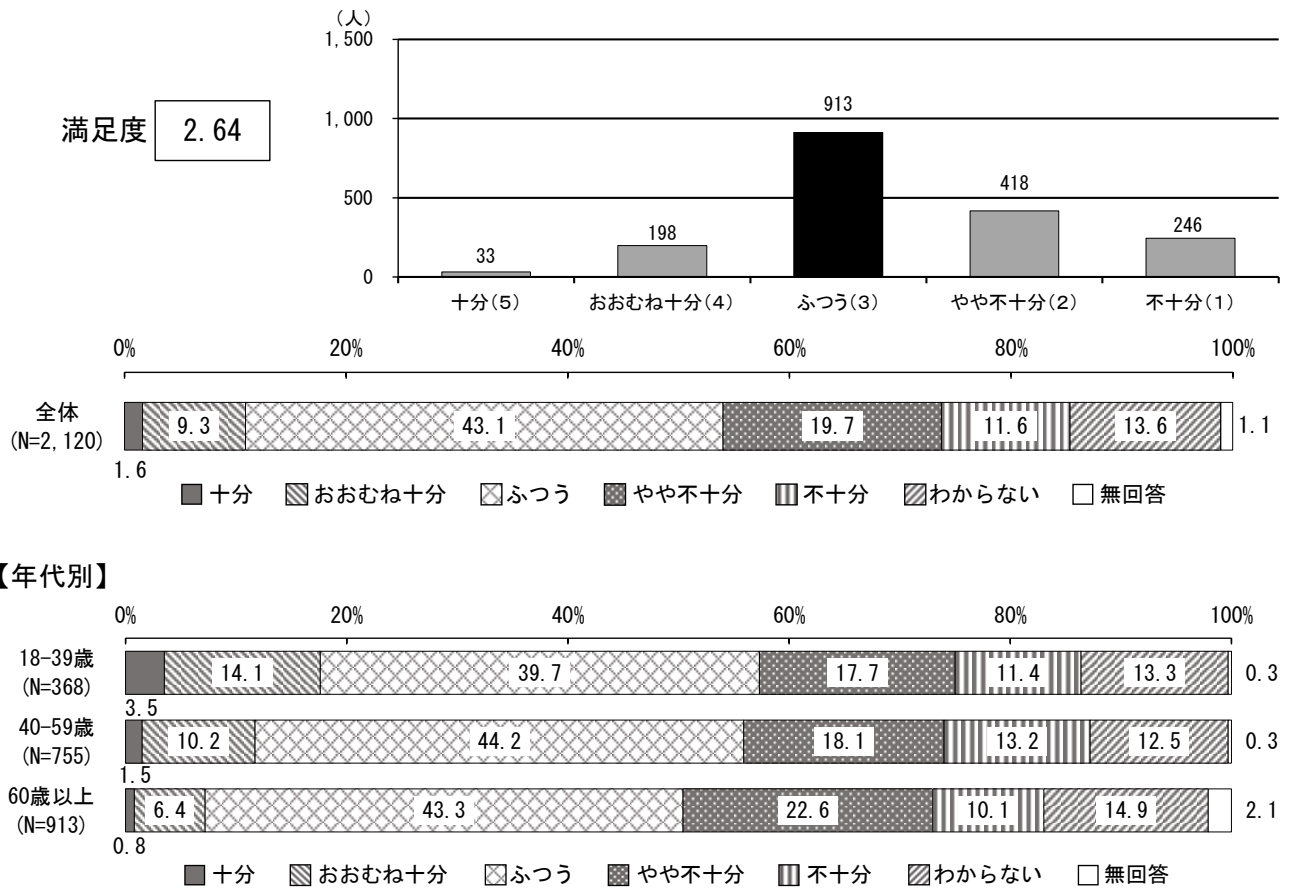
(b) 回答の理由

- 本当に地球温暖化対策の効果が出ているのか疑問に感じる。取組も我々には見えてこない。
(1 不十分/女性/20歳代/仙北地域)
- 地球温暖化への危機感が不足していると感じる。子孫にどんな影響を与えるのか、もっと啓蒙活動する必要があるのではないか。(1 不十分/女性/70歳以上/平鹿地域)
- ゴミの分別やリサイクル店での回収等、できる事はやっていると思う。専門家の指導の元、更に対策に力を入れてもらいたい。(4 おおむね十分/女性/60歳代/仙北地域)

カ 行政サービスの向上

問 1-19 デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。

(a) 満足度の状況



(b) 回答の理由

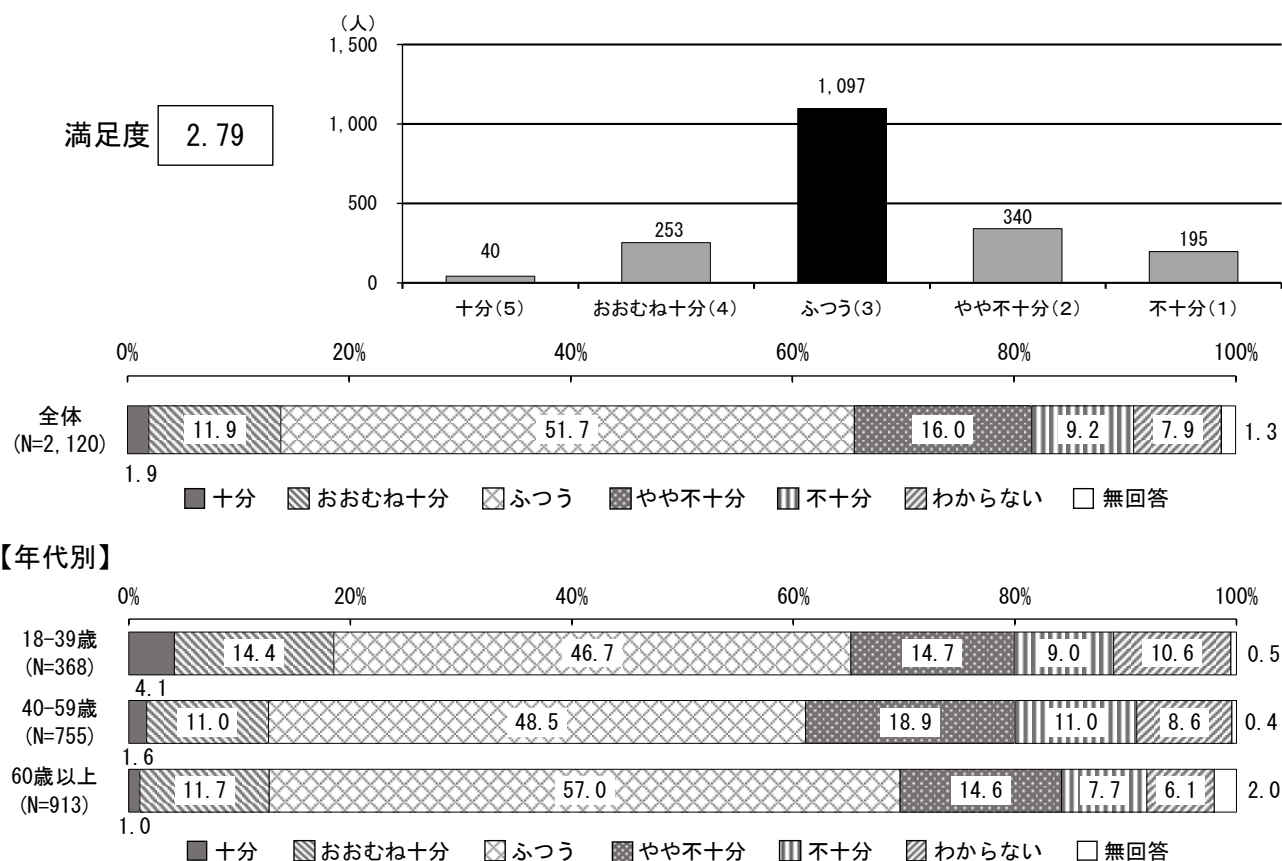
- デジタル化では便利になった面もあるが、逆に不便さを感じる。(1 不十分／男性／40 歳代／仙北地域)
- デジタルを不得手とする高齢の方にも対応しているサービスを提供していただきたい。デジタル推進するのはよいが、過敏症でスマホを触れない人もいる。なんでもデジタルがいい訳ではないと思う。(3 ふつう／女性／20 歳代／由利地域)
- 過疎だからこそデジタル化は重要であり、オンライン化が進めば都市一極集中にしくてもよくなる考える。デジタル先進地域になって人材を呼び込むべきと感じる。(4 おおむね十分／男性／40 歳代／仙北地域)

(5) 戦略5 健康・医療・福祉戦略について

ア 健康寿命日本一の実現

問 1-20 県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、元気に生活している。

(a) 満足度の状況



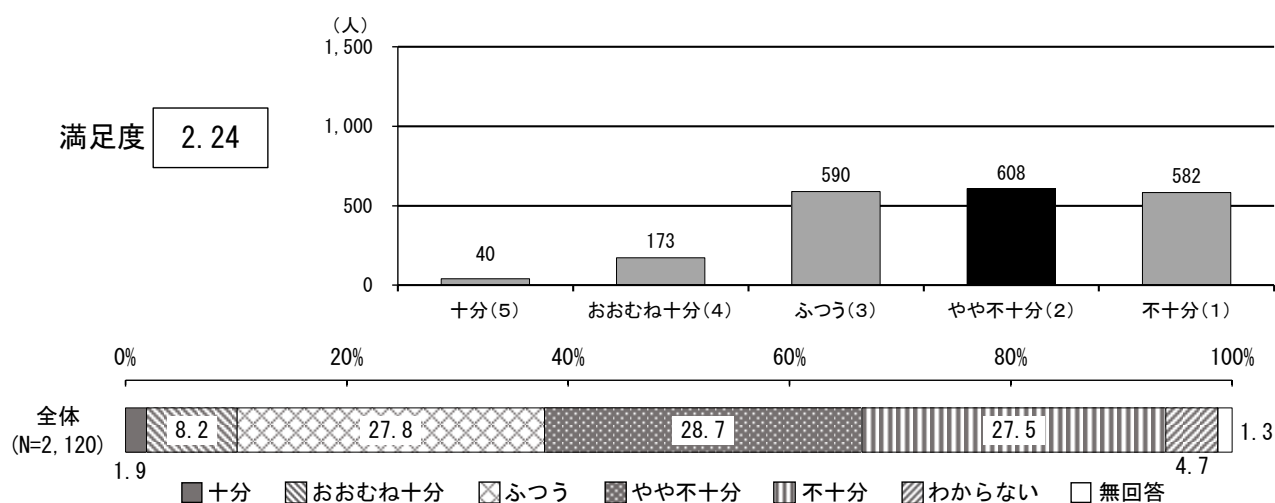
(b) 回答の理由

- 小・中学生を対象としたがん教育はそれなりに実施されているが、健康づくり県民運動の推進や健康に資する様々な啓発活動は更に充実していただきたい。(2 やや不十分/女性/60歳代/秋田地域)
- 秋田県民は濃い味を好むと言われているが、一人ひとりが意識をして食生活に気を付けないと、健康寿命は短いままだと思う。作る側が気を遣って薄味にしても、食べる側は調味料を足してしまうので意味がない。(2 やや不十分/女性/30歳代/仙北地域)
- 以前よりは健康意識が高まってきていると思うが、塩分の摂りすぎや甘味を好む県民性があるのでより一層課題を示し改善する必要があると感じる。(3 ふつう/女性/20歳代/雄勝地域)

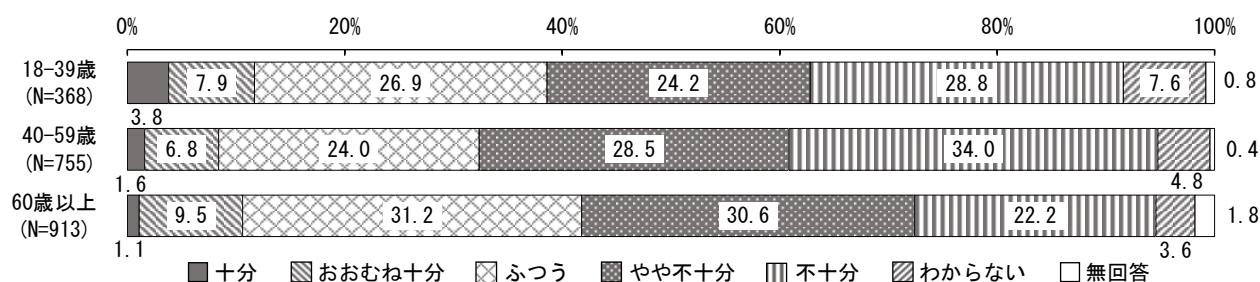
イ 安心で質の高い医療の提供

問 1-21 どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



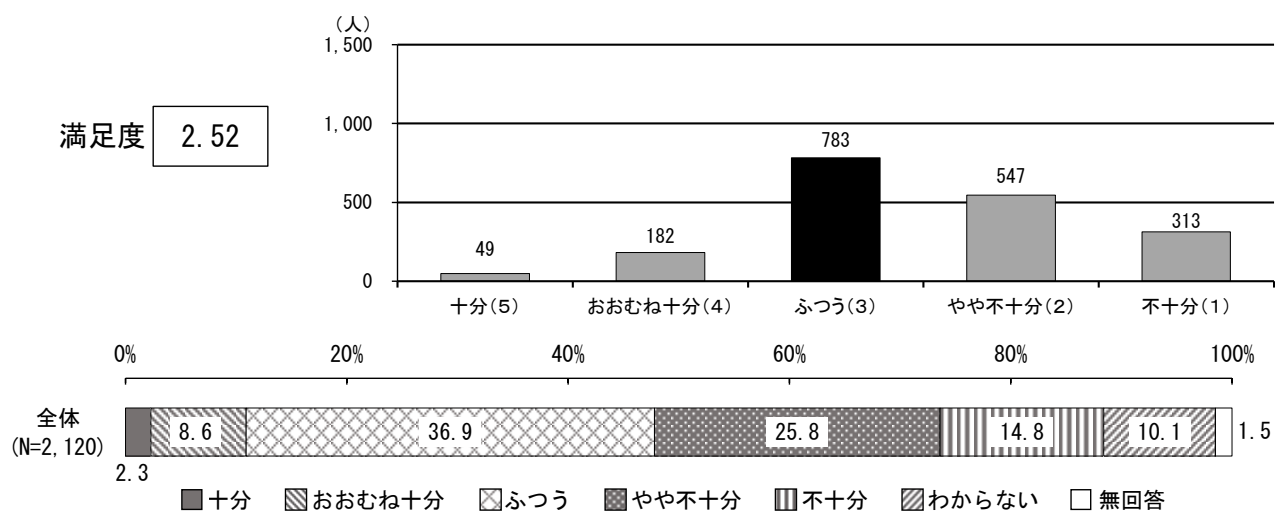
(b) 回答の理由

- 高度な医療は、秋田の大学病院に紹介されることが多く、秋田市以外の地域の人にとってはとても不便だと感じる。(1 不十分/女性/50歳代/仙北地域)
- 県都に医師が偏在しており、特に地方では小児科医や産婦人科医の不足により、里帰り出産ができない状態である。(1 不十分/女性/70歳以上/北秋田地域)
- 田沢湖に在住していたときに、産婦人科がないので角館まで通い秋田市で出産した。近くにないのは不安が大きかった。(2 やや不十分/女性/30歳代/秋田地域)

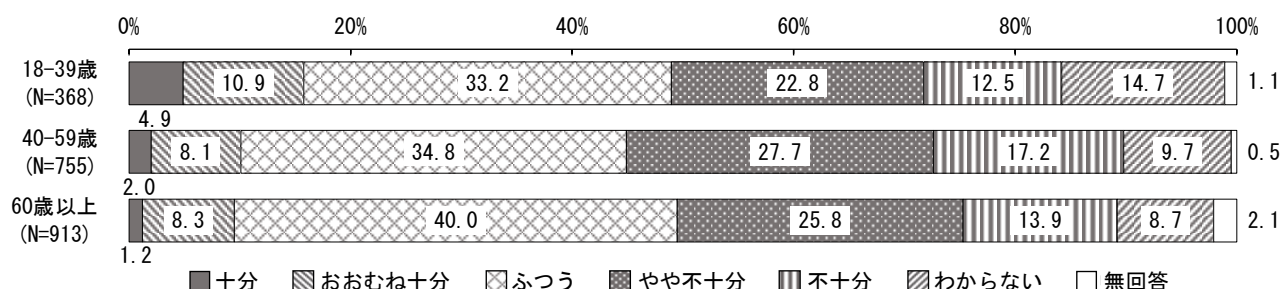
ウ 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

問 1-22 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



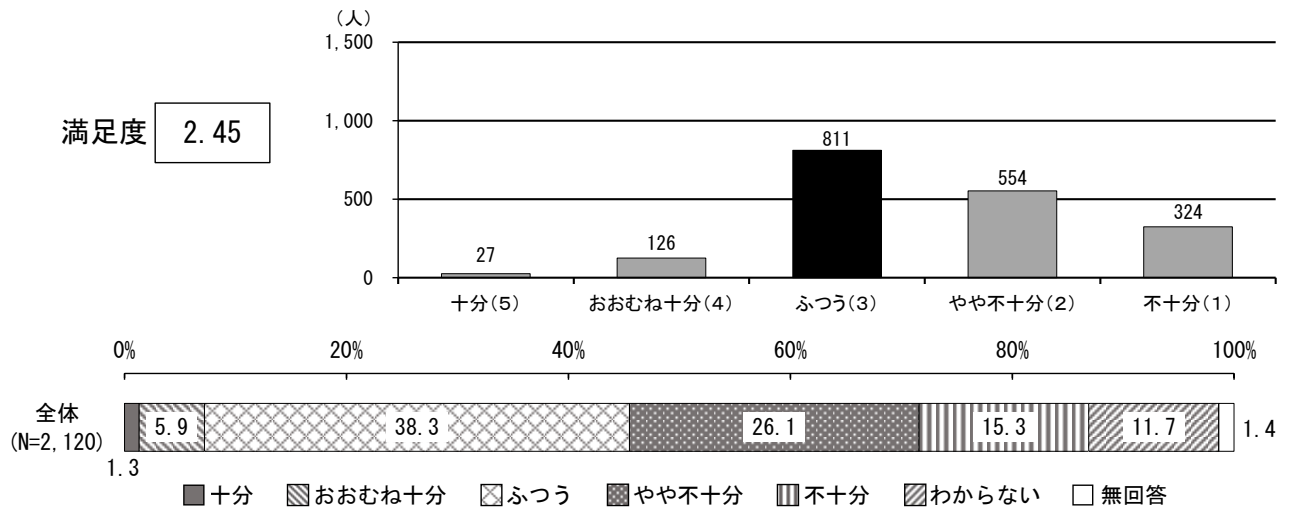
(b) 回答の理由

- 福祉のお仕事に従事している方には頭が下がるし、介護サービスもいろいろある事は知っているが、利用するまでの手続きに時間がかかると感じる。(1 不十分/女性/60 歳代/仙北地域)
- 介護職員の処遇はやはり厳しいものがあると思う。夜勤で16 時間勤務というところも聞いたことがあるが、それに見合った給与体系なのかが懸念される。(2 やや不十分/男性/40 歳代/秋田地域)
- 将来必要な介護サービスが受けられるのか不安を感じる。外国人の受け入れやA I の導入など進めてもよいのではないかな。(2 やや不十分/女性/60 歳代/秋田地域)

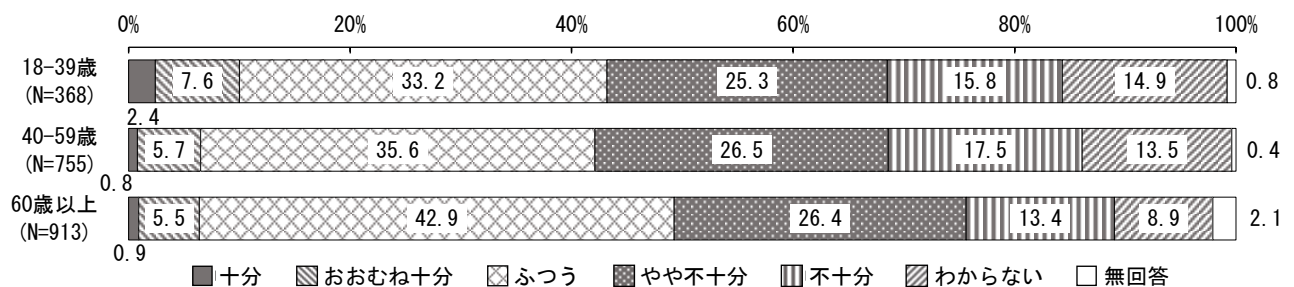
エ 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

問 1-23 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

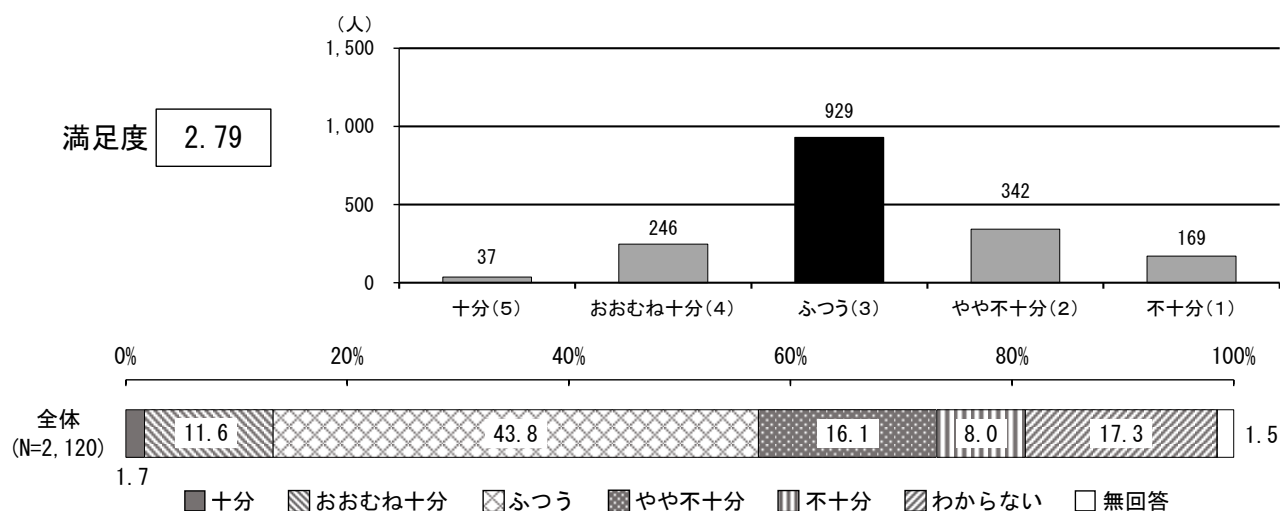
- 相談するのに抵抗がある人が多数だと思う。その時代によって風潮が違うので難しいが、人に触れられたくないことを話すのは容易ではないのではないか。(1 不十分/女性/40歳代/秋田地域)
- 相談体制や支援についてもっと周知すべきと感じる。自ら調べないと利用できない制度など、縦割り行政でなく横にも斜めにも広がりをもつ行政であってほしい。情報弱者が孤立しているように感じる。(2 やや不十分/女性/40歳代/北秋田地域)
- どんな状況でも「相談しよう」と思えないほど追いつめられている。その前に気づき手をさしのべることができれば、孤立も孤独もなくなるのではないかと。何ごとにも「今」のタイミングが必要。せっかく相談しても、「明日」になっては手遅れになってしまう。(2 やや不十分/その他/10歳代/秋田地域)

(6) 戦略6 教育・人づくり戦略について

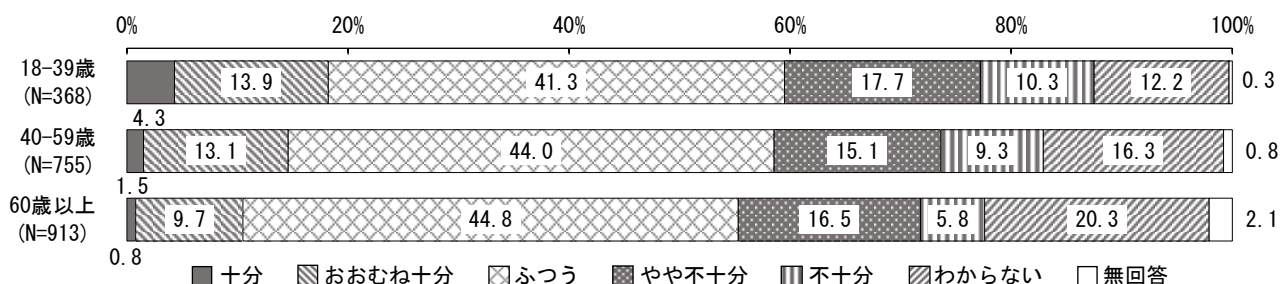
ア 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

問 1-24 学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



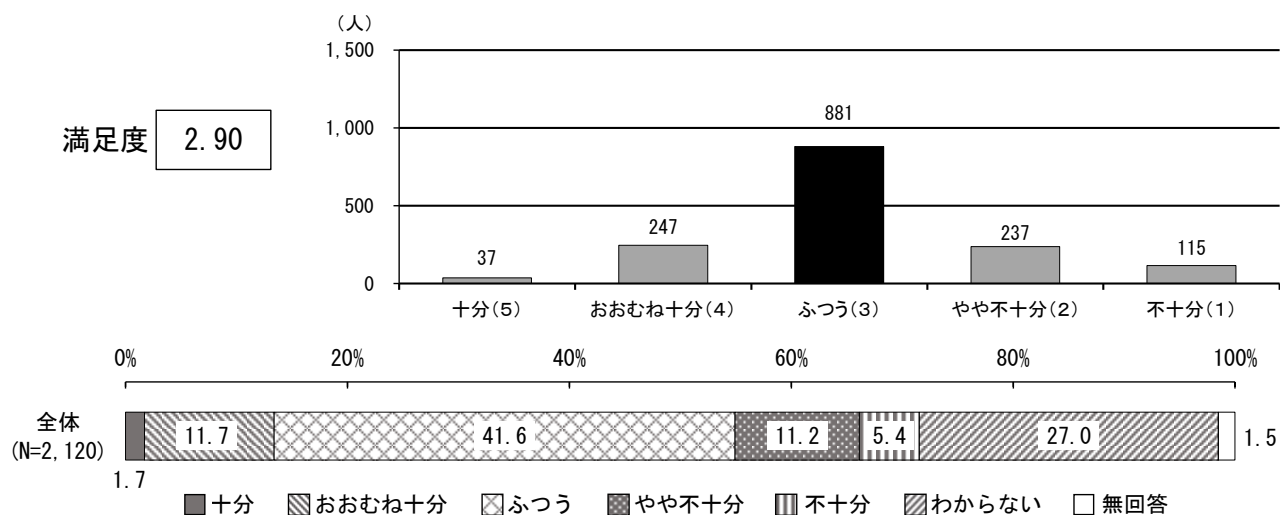
(b) 回答の理由

- 毎日児童と関わる学校関係者だからこそ、心の余裕、健康な身体、豊かな経験が必要。学校関係者が仕事以外に趣味や楽しみを持ち、人間として生き生きできることが、子どもたちにとっても良い教育につながると考える。(2 やや不十分/女性/40歳代/仙北地域)
- 一度秋田を離れてから秋田の良さに気づいたので、学校教育で魅力を発信してほしい。(2 やや不十分/男性/20歳代/鹿角地域)
- ふるさとを愛する心や、仕事をして自立していくことの大切さを育てるのは学校なのだろうか。学校の中で育てられることもあるだろうが、親や身近な人との会話やつながりの中で育てられるのではないかと感じる。(3 ふつう/女性/60歳代/仙北地域)

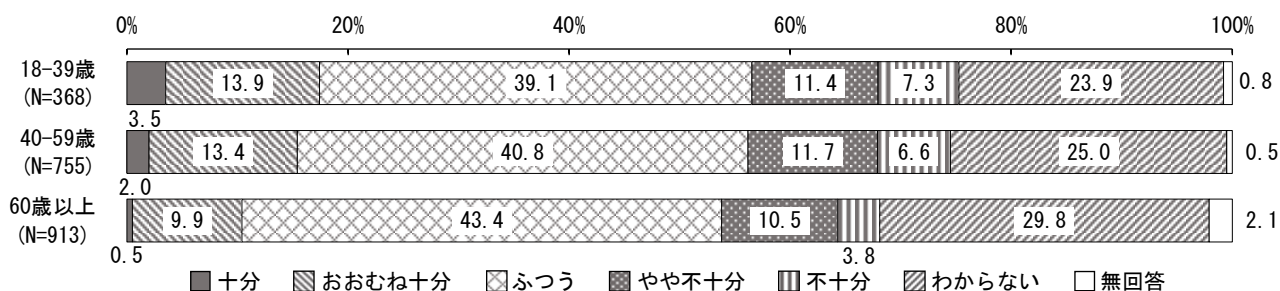
イ 確かな学力の育成

問 1-25 学校教育を通じて、I C Tを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



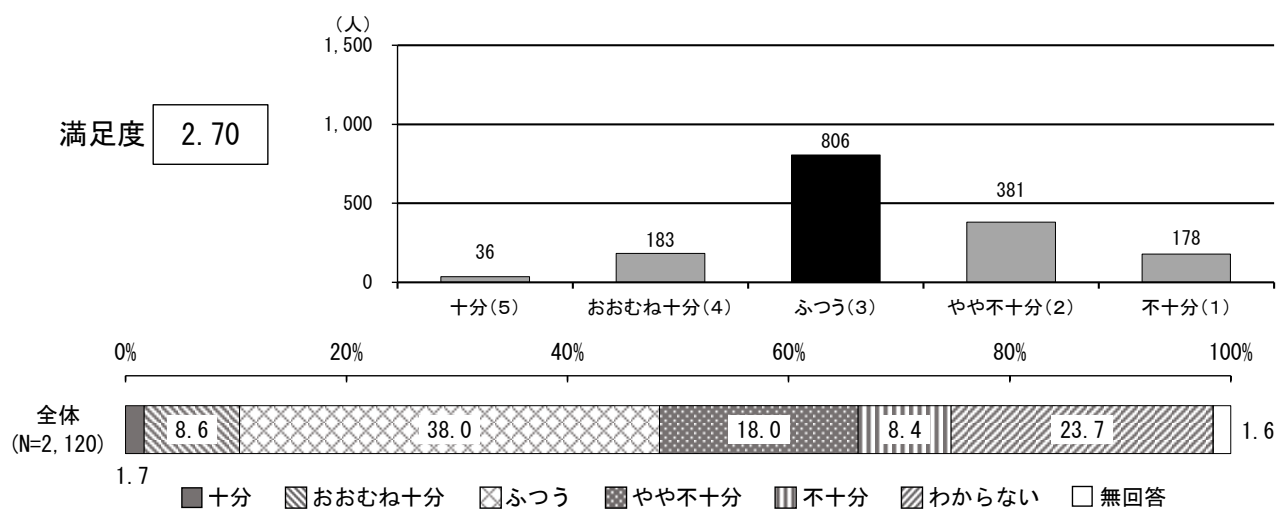
(b) 回答の理由

- 教育関係者だが、G I G Aスクール構想が出てからかなり進化したと感じる。今の教育現場ではどのような学び方をしているのか、教育に関わっていない層にも知ってほしい。(2 やや不十分/女性/20 歳代/仙北地域)
- 首都圏に住む甥や姪の話を聞くとタブレットを毎日持ち帰り、タブレットで宿題をしているという話を聞いている。せっかく1人1台タブレットを持っているのもっと活用できるのではと感じる。(2 やや不十分/女性/40 歳代/秋田地域)
- I C Tなどの活用は、在学中の教育も必要ではあるが、進化し続けていることを考慮し、社会人となっても学び続けられるようなシステムを作ってほしい。(N わからない/女性/70 歳以上/秋田地域)

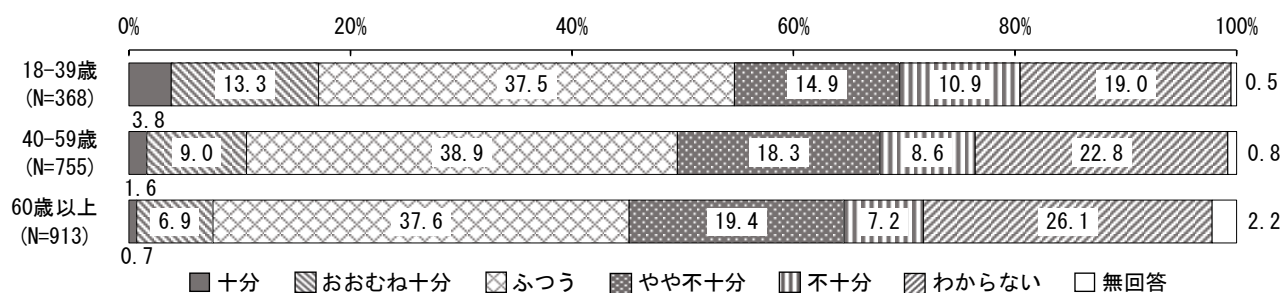
ウ グローバル社会で活躍できる人材の育成

問 1-26 学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



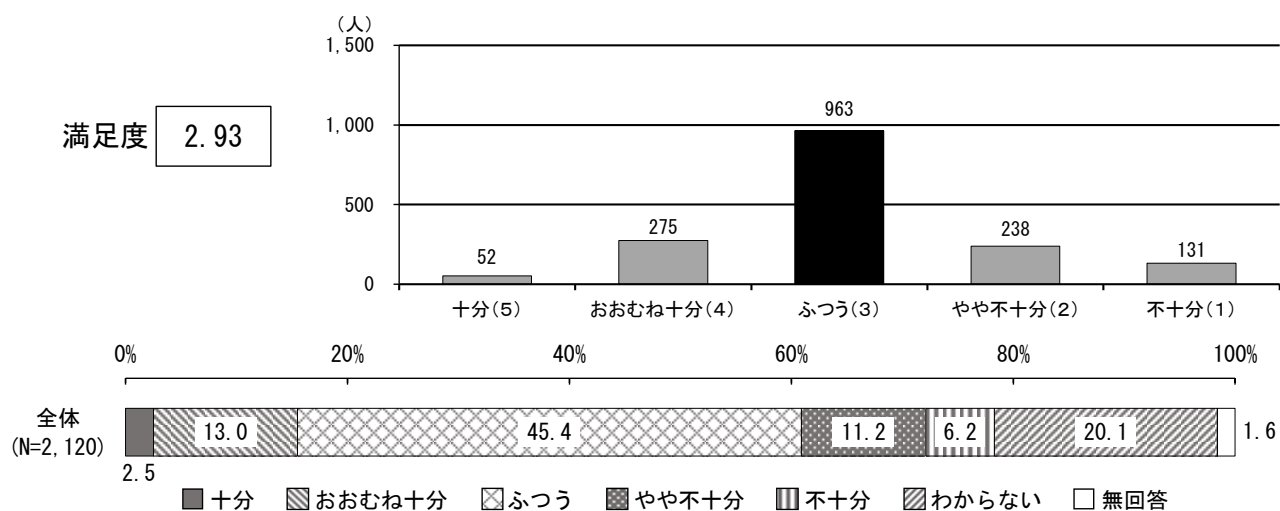
(b) 回答の理由

- 日本全体の英語教育の課題だが、英語を学んでも使えるレベルになっていないと感じる。学校に「英語デー」を設けて、友だちとの会話をできるだけ英語でするなどしてみてもどうか。(3 ふつう／男性／50歳代／秋田地域)
- A L Tの先生の出身国の文化や生活を教えてもらい、子どもたちが興味を示して授業を楽しんでいる。慣れない環境で頑張ってくれているA L Tの先生方にもっと親身に秋田の暮らし方や食文化を教えてあげたり、生活で困った事はないか気持ちに寄り添ってあげるなどしてあげてほしい。(4 おおむね十分／女性／40歳代／仙北地域)
- 小学校の時から英語の授業を取り入れることで、中学、高校での学びにも良い影響を与られていると感じる。(4 おおむね十分／女性／20歳代／雄勝地域)

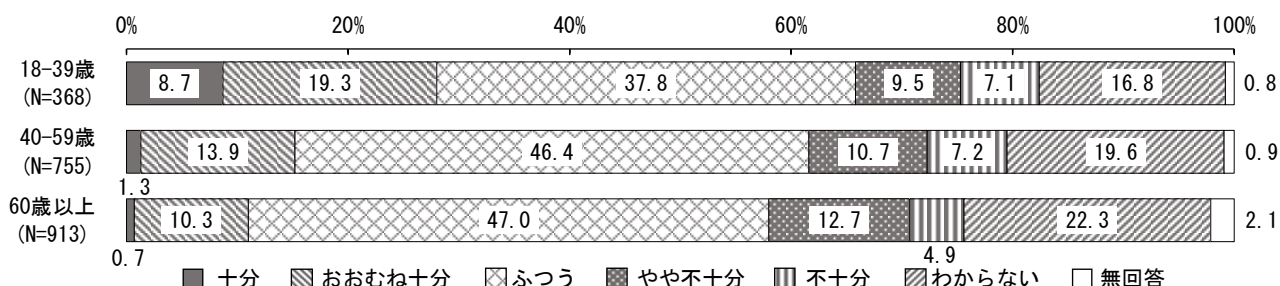
エ 豊かな心と健やかな体の育成

問 1-27 学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



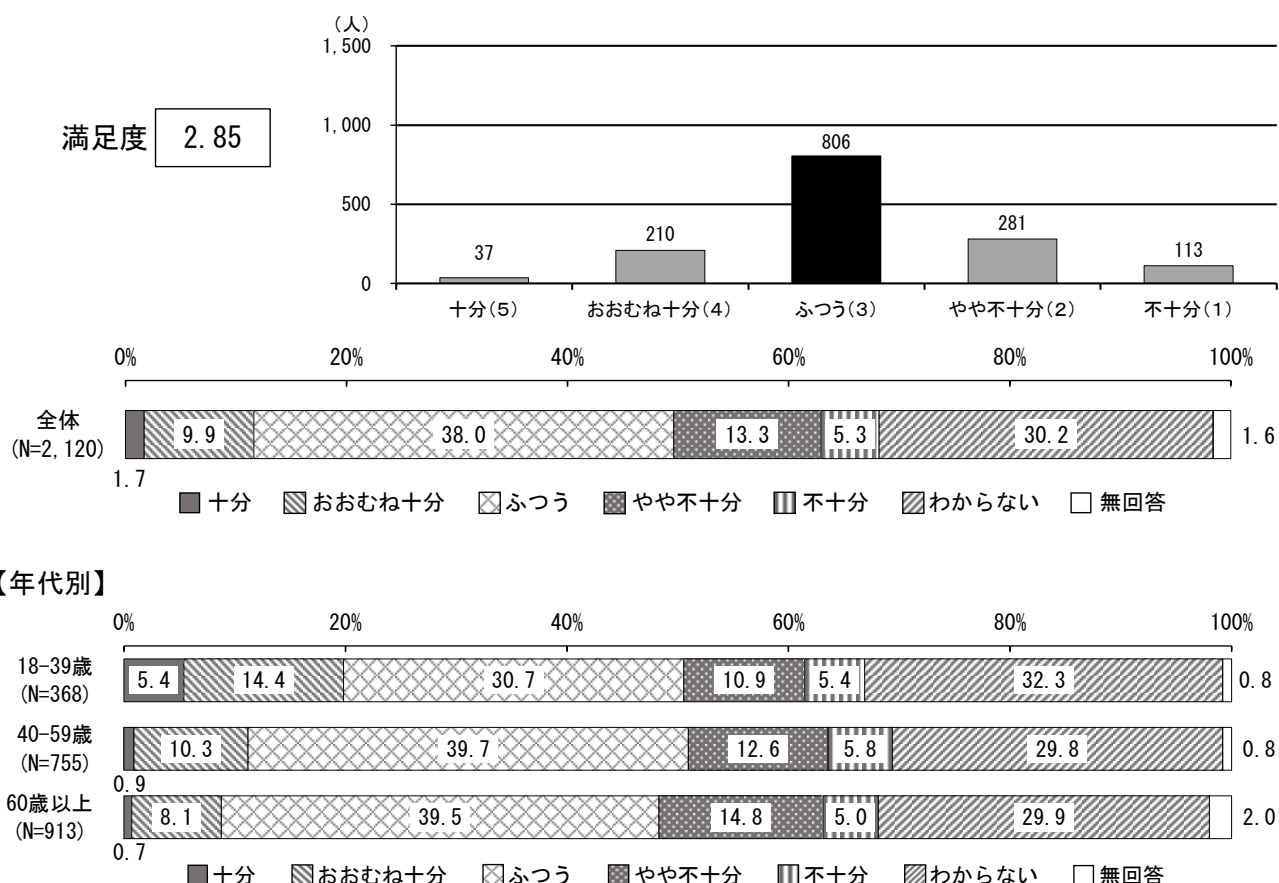
(b) 回答の理由

- 教育だけでなくちゃんとした食生活がない限り、豊かな心や健やかな体にはなれないと思う。(1 不十分/男性/50歳代/秋田地域)
- 学校での子どもたち同士の関わり方が複雑になってきていると感じており、思いやりにつながるのには厳しいような気がする。(2 やや不十分/女性/40歳代/雄勝地域)
- デジタル化によって人と人とのコミュニケーションが取れず、大事な人と人とのつながりがなくなって、家族との会話やまわりの人との関わりがなくなっているように思う。もっと交流することが必要なのではないか。(3 ふつう/女性/70歳以上/仙北地域)

オ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

問 1-28 県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。

(a) 満足度の状況



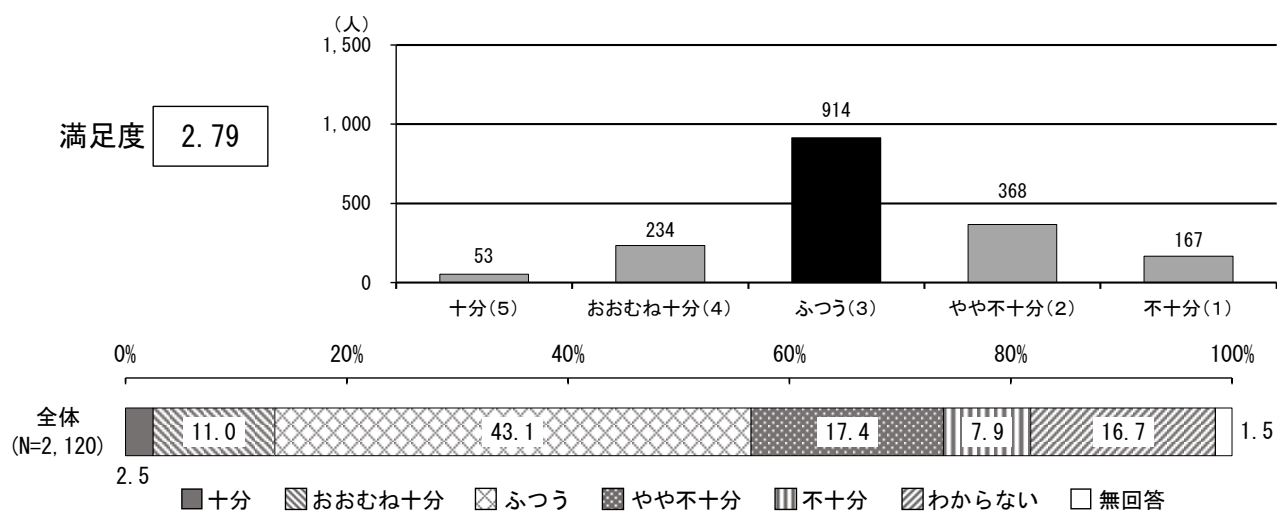
(b) 回答の理由

- 大学生が県内の様々な行事や活動に参加している様子をメディアで知り、たくさんの人に認知してもらったり活気づけたりすることできていると感じる。(3 ふつう／女性／50歳代／山本地域)
- 大学のサークル活動や研究による活動を目にすることが増えたと感じる。特に、国際教養大の学生が積極的であるように見えるが、そのような活動はもっとあっても良いと思う。(3 ふつう／女性／50歳代／秋田地域)
- 地元の課題を考えるようなカリキュラムなどもあり、今の大学生は、自主的に地域と関わりを持とうと活動しているように感じる。(5 十分／男性／50歳代／秋田地域)

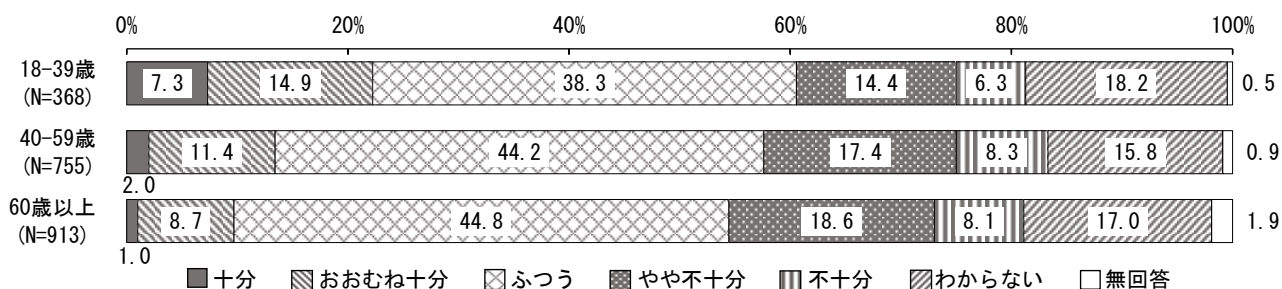
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

問 1-29 県民がライフステージや生活スタイルに応じて学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

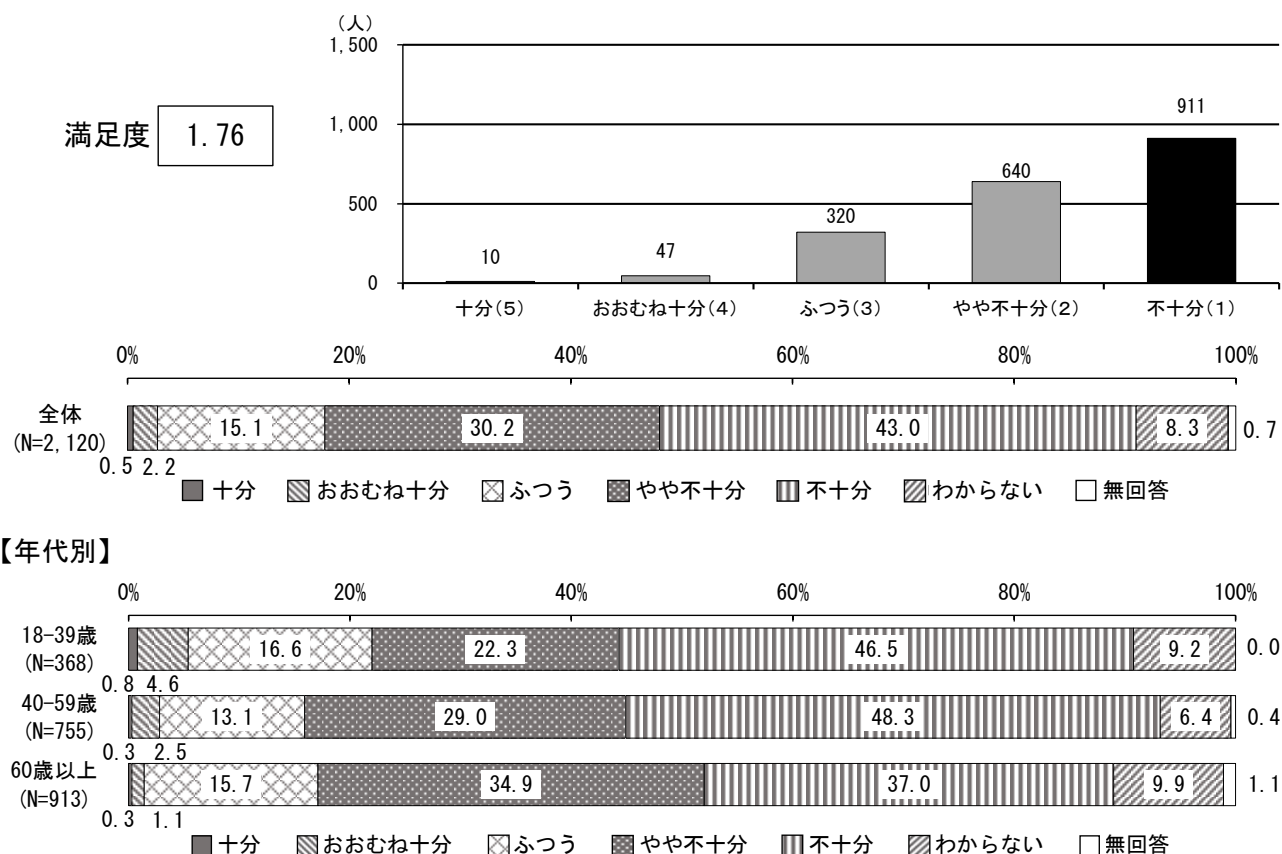
- 若者には文化芸術に触れる機会が比較的多く提供されているように感じるが、高齢の年代は触れる場が少なく、そもそも通いづらいイメージがある。(1 不十分/女性/20 歳代/秋田地域)
- 個人の取組や関心にかかわる問題が大きいと思うが、文化芸術に触れる機会の創出という観点からするとそれほど魅力あるイベントやセミナーや学習する機会が多いとは思わない。(3 ふつう/男性/70 歳以上/秋田地域)
- 小さなイベントを楽しんでいる人が増えたと思う。ミルハスや文化創造館の存在が大きいと思うが、ライブハウスもよく頑張っているように感じる。(3 ふつう/女性/50 歳代/秋田地域)

(7) 選択・集中プロジェクトなどの重点施策について

ア 賃金水準の向上

問 2-1 県内の「賃金水準の向上」に向けた取組が進んでいる。

(a) 満足度の状況

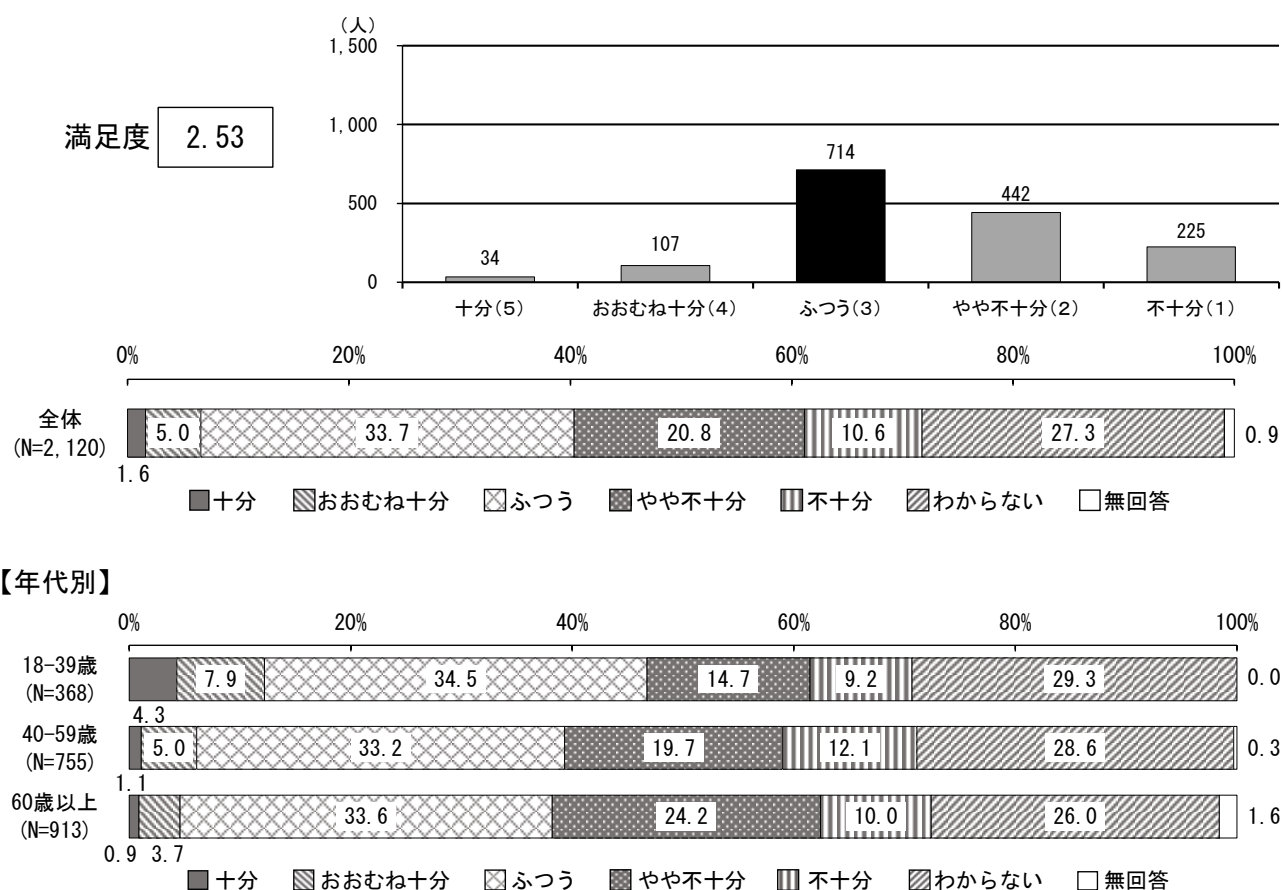


イ カーボンニュートラルへの挑戦

問 2-2 「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。

※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

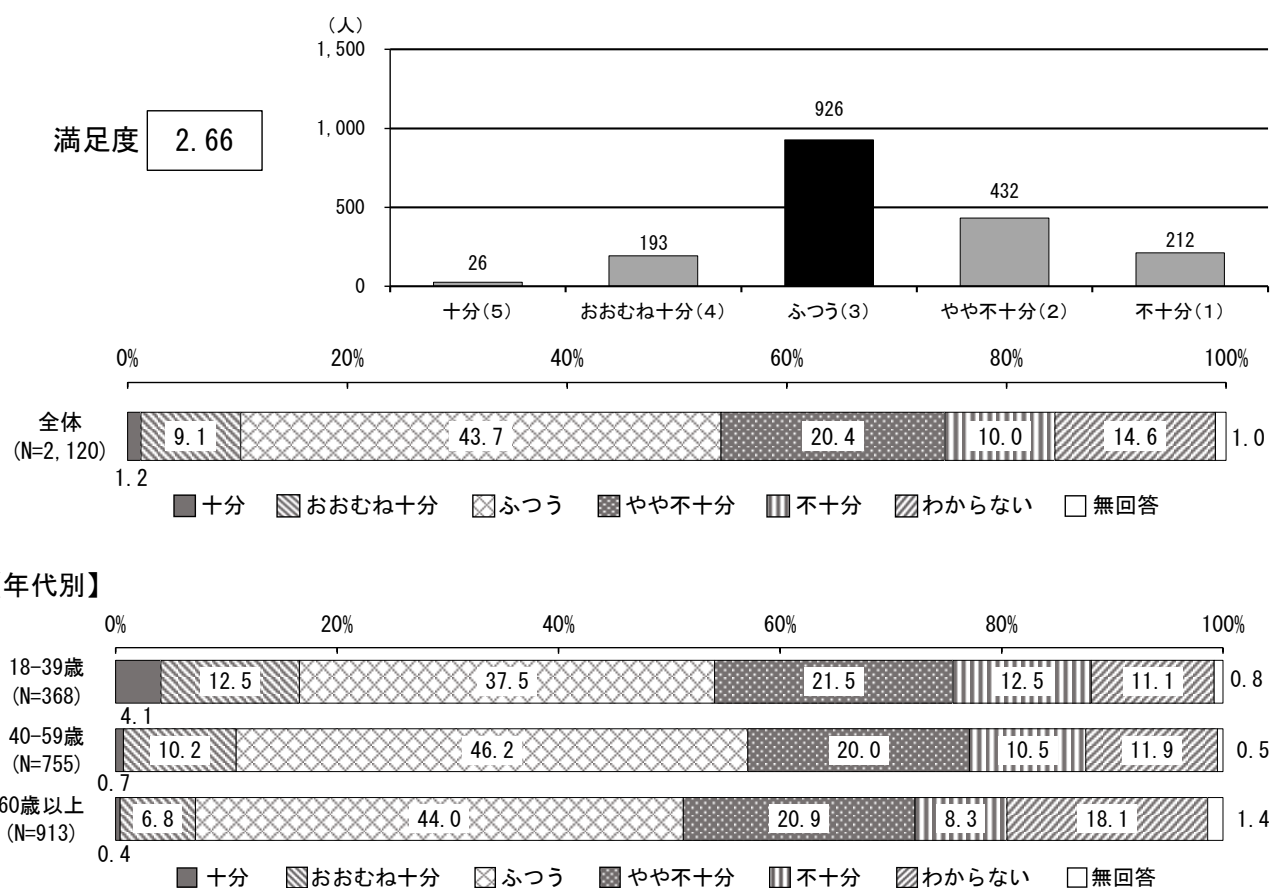
（a）満足度の状況



ウ デジタル化の推進

問 2-3 県民生活の様々な場面において、「デジタル化」に向けた取組が進んでいる。

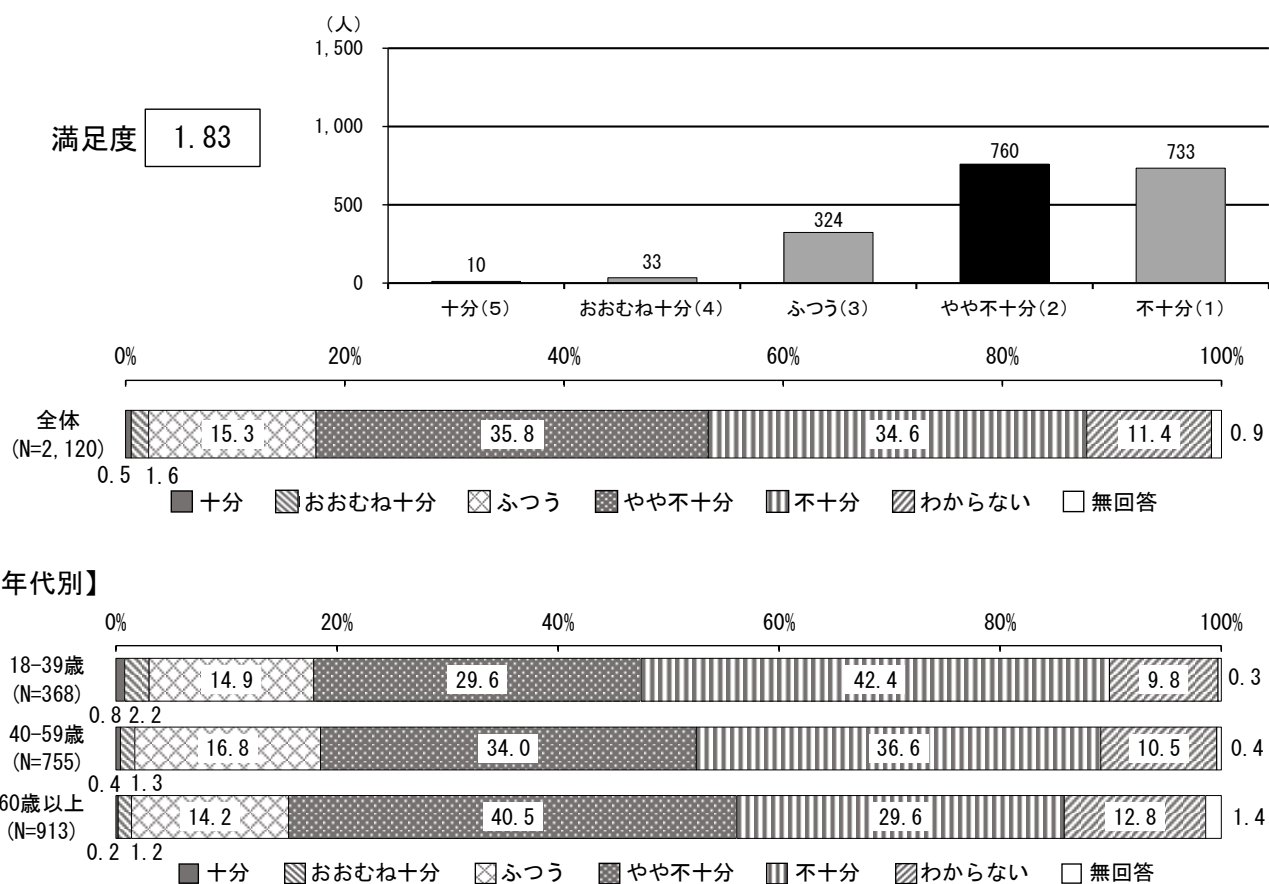
(a) 満足度の状況



エ 若者・女性の県内定着・回帰

問 2-4 「若者・女性の県内定着・回帰」に向けた取組が進んでいる。

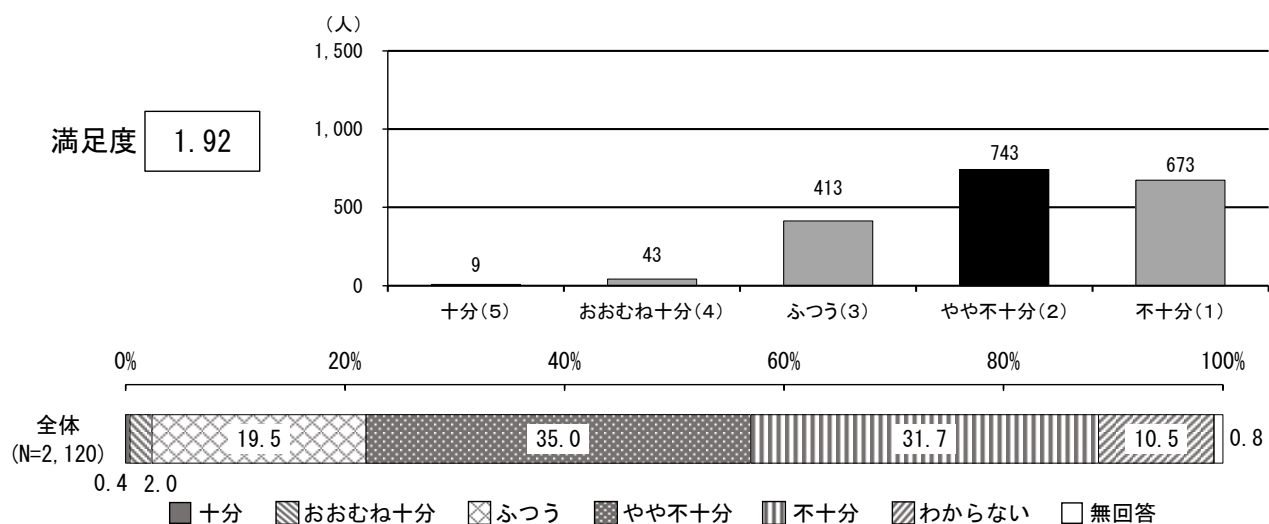
(a) 満足度の状況



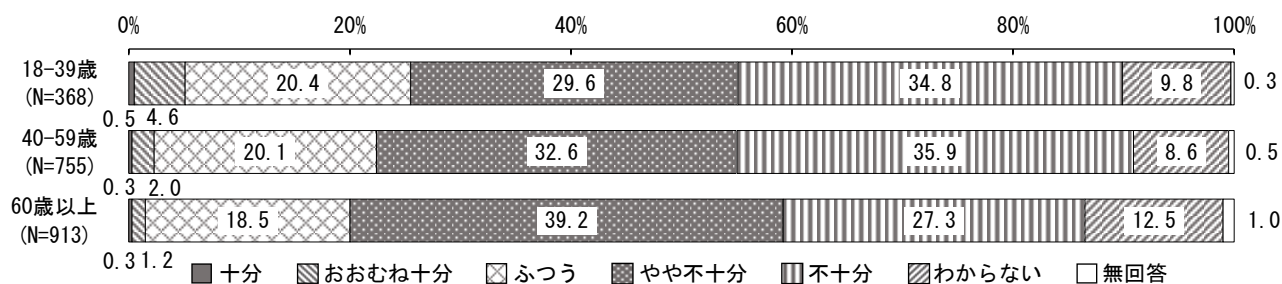
オ 魅力的な働く場の確保

問 2-5 「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。

(a) 満足度の状況



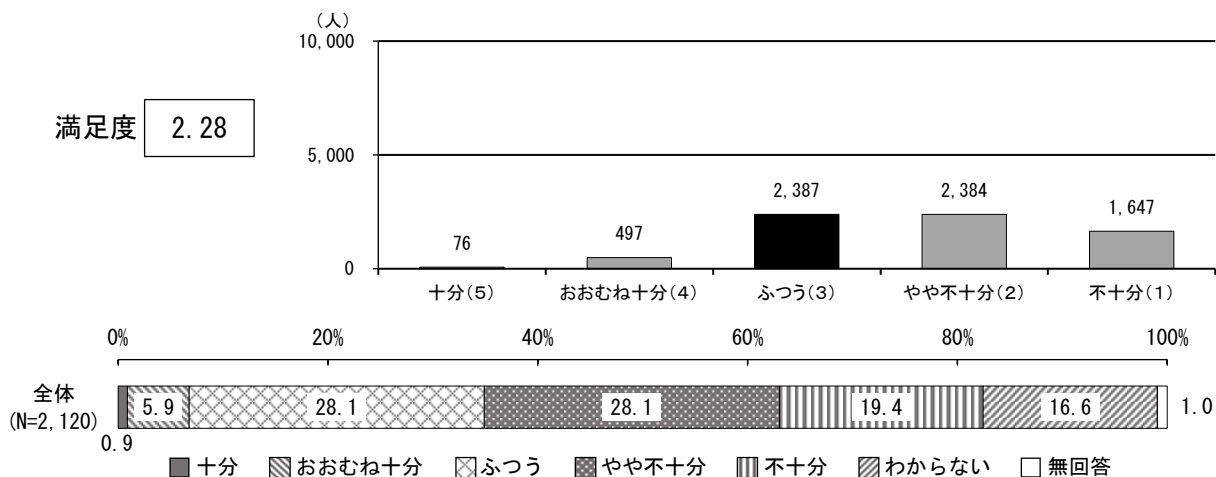
【年代別】



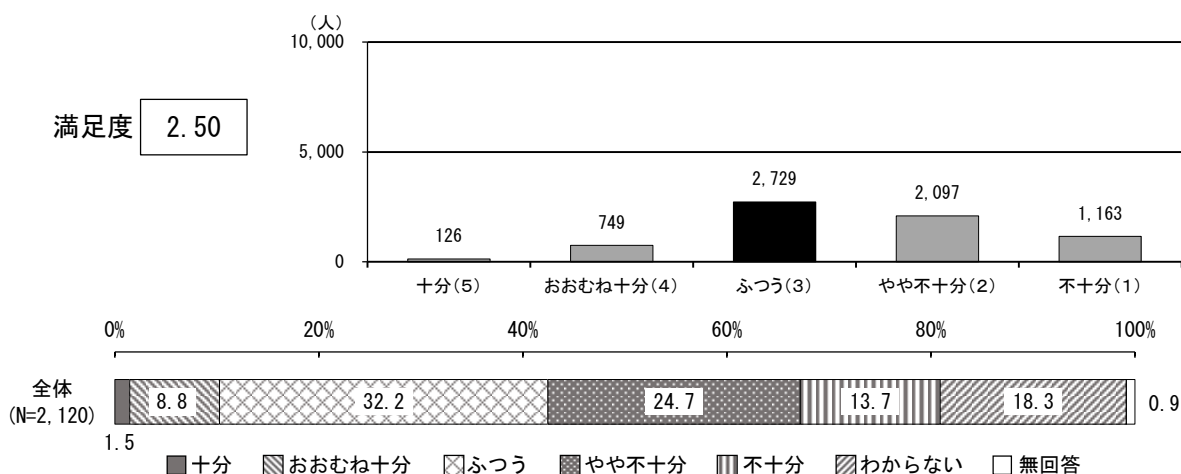
2 (参考) 各戦略の施策に関連する項目についての満足度の平均値

「1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度」について、戦略毎に平均値を計算した結果は次のとおりである。

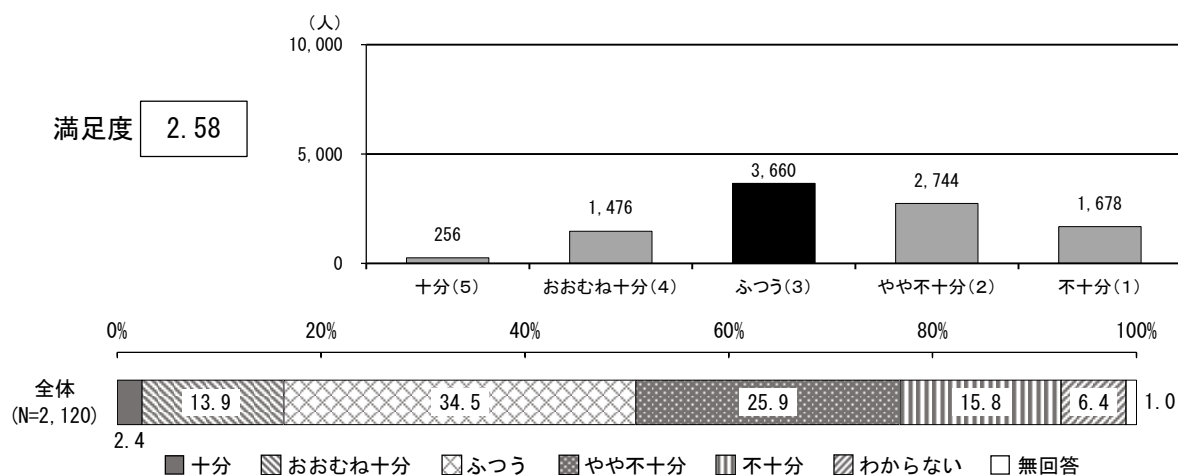
戦略1 産業・雇用戦略（問1-1～問1-4）



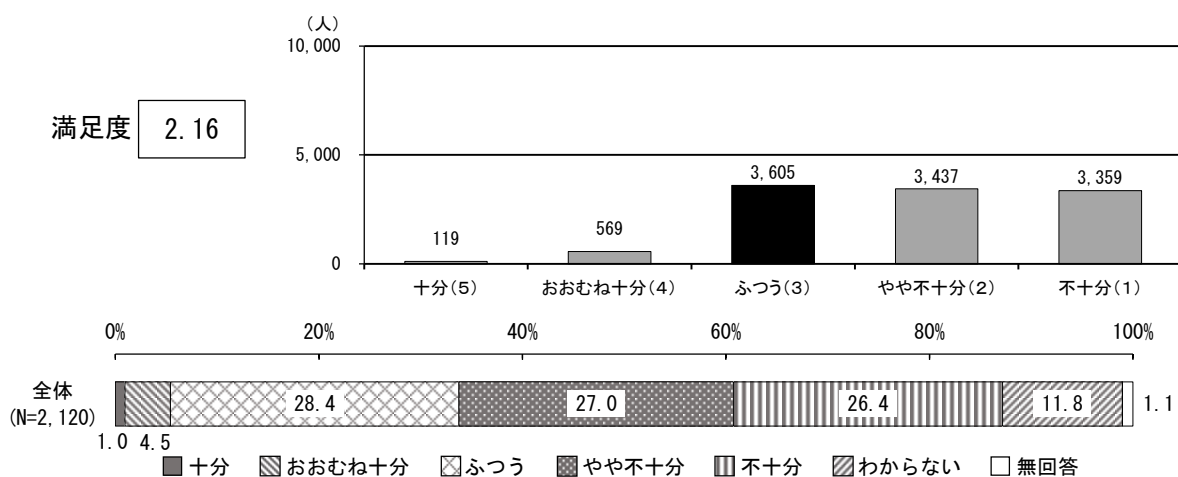
戦略2 農林水産戦略（問1-5～問1-8）



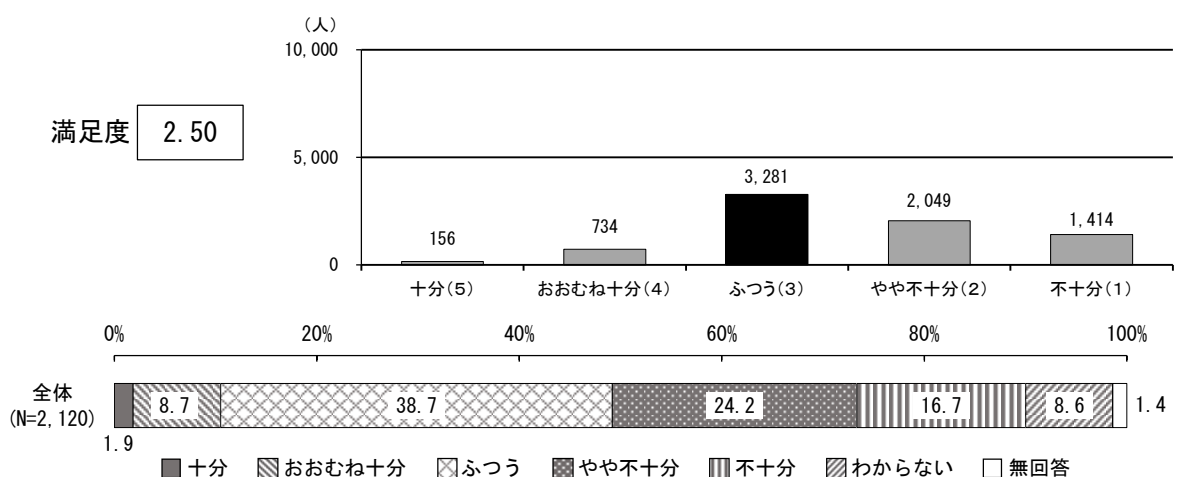
戦略3 観光・交流戦略（問1-9～問1-13）



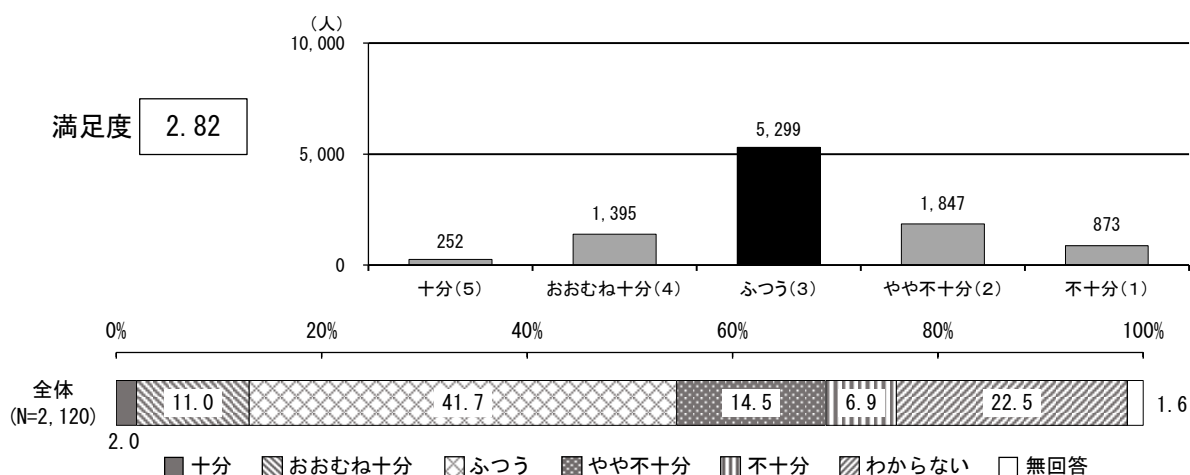
戦略4 未来創造・地域社会戦略（問1-14～問1-19）



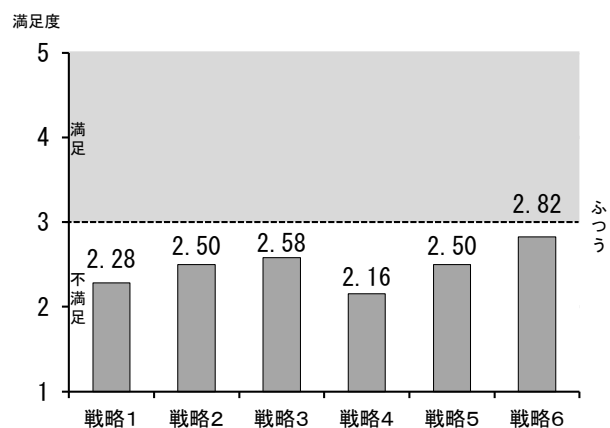
戦略5 健康・医療・福祉戦略（問1-20～問1-23）



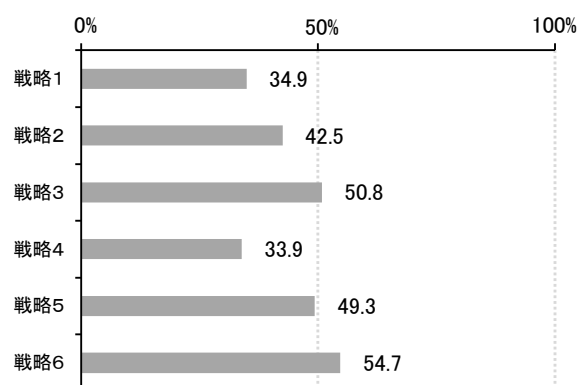
戦略6 教育・人づくり戦略（問1-24～問1-29）



〔満足度の平均〕



〔不満を感じていない人の割合の平均値〕



※「満足度の平均」「不満を感じていない人の割合の平均値」とも、戦略を構成する施策の回答結果の平均値であり、各戦略そのものの満足度、割合ではない。